

平成27年度

足立区立元湊江公園・生物園 指定管理業務

年度業務報告書

指定管理者

体験型いきものパークマネジメント

東京都立川市錦町2-1-22

代表 株式会社自然教育研究センター

代表取締役 税所 功一

印

平成27年度 元漕江公園・生物園
指定管理業務 報告書

目 次

第一章 利用促進・教育普及業務

I	長期方針と平成27年度の活動	
	1.長期方針	1
	2.今年度の活動	2
	(1) 重点的取り組み	
	(2) 平成27年度の数値目標	
	(3) 業務実施計画	
	(4) 行事計画	
II	受付業務	
	1.受付窓口	8
	(1) 年間入園者数の月別推移とその傾向	
	(2) 入園料収入	
	(3) インフォメーションの対応実績	
	(4) 来園者の声	
	2. ミュージアムショップの利用状況と売上実績	15
	(1) 利用状況	
	(2) 販売状況	
	(3) 商品展開	
III	展示解説業務	
	1. 展示解説実施および対応実績	20
	2. 夜間特別開園の実施	25
	(1) ホタル見 night! の夜間特別開園	
	(2) 光の祭典夜間特別開園	
	3. 自主事業の実施	26
	(1) 特別イベント	
	(2) ふれあいプログラム	
	(3) 導入型プログラム	
	(4) 発展型プログラム	
	3. 区民協働活動の推進・支援	30
	(1) 昆虫飼育ボランティア	
	(2) 生きものふれあいボランティア	
	4. 団体対応	31
	(1) 団体プログラム	
	(2) 出張授業	
	(3) 教職員向け講座	
	(4) 実習対応	

5. 展示による解説	33
(1) 常設展	
(2) 企画展・特別展	
6. 印刷物による解説	34
(1) セルフガイド	
(2) ニュースレター	
7. 連携事業	35

IV 広報活動

1. メディア対応・掲載等の実績	38
2. ホームページによる情報発信	42
3. ポスター・チラシ等による情報発信	43

第二章 生物飼育業務

I 生物飼育業務

1. 平成 27 年度の飼育状況	46
(1) 昆虫類	
(2) 両生爬虫類	
(3) 水族	
(4) 鳥類哺乳類	
2. 各飼育区分の飼育種数および頭数のリスト	47
(1) チョウ類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(2) 水生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(3) 陸生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(4) 両生爬虫類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(5) 水族の年間飼育種数および頭数のリスト	
(6) 鳥類の年間飼育種数および頭数のリスト	
(7) 哺乳類の年間飼育種数および頭数のリスト	
3. 特記事項	59
(1) チョウ類の月別放蝶実績	
(2) ツシマウラボシシジミの生息域外保全	
(3) ホタルの飼育展示実績	
(4) 「ホタルのタベ」実現に向けたとりくみ	
(5) 捜査押収品の引き取り個体「テナガコガネ類」の飼育について	
(6) 観察展示室「水族展示エリア」の水槽改修について	
(7) ピラルクーの成長実績	
(8) 他館からの譲渡個体の飼育状況	
(9) コモンリスザルの新規導入	

第三章 施設維持管理業務

I	元湊江公園の維持管理業務	
	1. 公園管理上の留意事項	63
	2. 公園維持管理業務の主な内容	63
	3. 平成 27 年度施設管理業務実施報告（公園維持管理）	66
	4. 公園維持管理作業の様子	67
II	生物園の維持管理業務	
	1. 生物園維持管理業務の内容	73
	2. 平成 27 年度施設管理業務実施報告（館内清掃・植物管理・機械設備）	74
	3. 生物園維持管理作業の様子	75

第一章 利用促進・教育普及業務

I 長期方針と平成 27 年度の活動

1. 長期方針

『体験型いきものパーク』実現に向けて4つの機能を充実させます

本共同体は、指定管理業務期間である5年間の中で、元淵江公園および、生物園に『レクリエーションの場としての機能』、『環境学習の拠点としての機能』、『自然科学博物館としての機能』、『生物多様性保全の拠点としての機能』を位置づけ、『体験型いきものパーク』の実現を目指していきます。



2. 今年度の活動

(1) 重点的取り組み

今年度は、閑散期の来園者を増やすための対策として、広報の充実、新規動物の導入に加え、公園の活性化を目的とした大型イベントの開催を重点事項として取り組んでいきます。

① 利用促進協議会

今年度は、すでに立ち上げて活動を開始している「生物園おみやげ研究会」を発展させ、具体的な成果として、オリジナル商品の開発を目標とします。また、教育研究会、地域連携研究会の立ち上げに向けて、学校関係者や地域町会などとの意見交換を進めていきます。

② さらなる来園者増に向けての取り組み

● 閑散期の広報活動の強化

通常の広報活動に加えて、閑散期である冬期にはポスター、中吊り広告、メディアへの働きかけ、チラシの増刊などを集中的に行っていきます。また、新規にフェイスブックを立ち上げるなどして生物園や元渚江公園の魅力（生きものの繁殖状況、公園のチューリップや桜の開花状況など）をタイムリーに発信していく努力をします。

- ・フェイスブック：5月下旬
- ・中吊り広告：2月～3月
- ・ポスター、チラシ：お正月展1月、ドッグフェスタ3月

● 光の祭典との連動を強化

昨年度の反省点として、光の祭典との連動が不十分だったことが挙げられます。

- ・期間中の土日祝日は夜間開園したものの、12/24、25は行いませんでした。
→今年度の夜間開園実施予定日：
11月28、29日、12月5、6、12、13、19、20、23、24、25日
- ・元渚江公園の点灯は17時だが、生物園の夜間開園は18時からとしたため、結果的に多くの方々に利用の機会を制限してしまいました。
→効率よく夜間開園の準備を行い、17時開園を目指します。
- ・生物園入口のイルミネーションが少なく、開園に気づかない来場者もいました。
→生物園としても入口の装飾に工夫を加え、光の祭典との一体感を演出します。

● 年始開園の見直し

昨年度より年始の開園を1月2日からに変更しました。今年度からは、さらに年始最初の月曜日の臨時開園を実施します。

→今年度は1月4日（月）を臨時開園する予定。

③ 連携事業の拡大

我々、民間企業による指定管理のメリットを活かし、民間企業同士の連携をさらに強化していきたいと考えています。

- 株式会社サンベルクスなど：エサとしての野菜くず活用とゴミの減量
→今年度4月より開始しています。
- 株式会社ヨシダ：金魚を通じた相互PR、技術協力、生体・エサ購入
→金魚すくい用生体購入：5月、8月、10月 エサの購入：通年
- 地元商店街、協賛企業など：「Dream Night at the Zoo」などイベントへの協力
→Dream Night at the Zoo：7月11日（土）
足立成和信用金庫より協力をお約束いただいています。
- 株式会社上州屋：元湊江公園を活用した「魚釣り教室」を検討
→10月実施予定

④ 展示生物の充実と繁殖

● パルマワラビーの繁殖

生物園のオーストラリアドームでは、多摩動物公園から譲り受けたパルマワラビーの雄個体2頭を飼育・展示しています。今後、長期的に展示していくためには繁殖を進めていかなければなりません。そこで、弘前市の「弥生いこいの広場」からメス1頭を譲り受けることになり、4月以降に移送の運びとなります。生物園に到着し次第、順化、繁殖を試みていきます。また、無事繁殖に成功した際は、セレモニーや名前の公募を行っていききたいと考えています。

- 搬入：4月24日予定
- 公開：4月29日予定
- 名前公募：6月予定

● 両生爬虫類の生体展示の充実

両生類、爬虫類のコレクションを充実させることで、近隣の動物園や水族館との差別化を図ります。特に形態的、生態的に特徴のある種や日本産の種を増やしていきたいと考えています。その一環として、高知市の「わんぱーくこうちアニマルランド」よりパンケーキリクガメ2頭、アカアシガメ4頭を譲り受けることになりました。

- パンケーキリクガメ、アカアシガメ搬入：4月14日予定
- アカアシガメふれあい公開：4月29日開始予定

● 水族の生体展示の充実

観察展示室内の水族エリアの水槽設備は老朽化が進み、亀裂や接合部の剥離が見られ、総じて安全な状態とは言えません。安全性、展示効果、修繕費用などを検討し、展示改修計画を提案します。

⑤ 社会的弱者への配慮を強化

● 「Dream Night at the Zoo」開催

ドリームナイト・アット・ザ・ズーとは、障害をもつお子さんとその家族を閉園後の動物園に招待し、気兼ねなく楽しいひと時を過ごしてもらうことを目的とした国際的な活動です。原則6月の第一金曜日に世界中で実施されています。

→7月11日(土)実施予定

⑥ 元渚江公園の活性化

● 大型イベント第一弾「ドッグフェスタ」開催

元渚江公園は多くの愛犬家に利用されています。しかしながら、必ずしもマナーが守られているわけではありません。そこで、様々な視点から人と犬の関わり方を伝えるドッグフェスタを開催し、普及啓発と公園の活性化を図ります。

→3月21日(月・振替休日)実施予定

(2) 平成27年度の数値目標

① 目標入園者数：180,000人

本共同体は指定管理期間である5年間で入園者数を20万人まで増加させることを目標とし、それを実現させるため、今年度は18万人を目指します。



② 生物園目標収入額：31,750,000円

安定的な生物園の運営を可能にするため、入園料収入やミュージアムショップ、自主事業収入などの増収により収入(指定管理料を除く)を前年度比+200万円を目標収入額とします。

収支区分	内容	金額(単位:千円)	備考
その他の収入	入園料	21000	
	ミュージアムショップ	7500	
	生物のエサ販売等	1500	
	金魚すくい等	700	
	その他の有料プログラム	1000	
	自販機電気料金等	50	

③ ミュージアムショップ目標収入額：7,500,000円

ミュージアムショップは生物園運営上、重要な収入源になっています。利用者のニーズを汲み取り、魅力的かつ、生物園らしい環境教育に資する商品を充実させることで、前年度比+50万円の収入増を目指します。

④ 目標年間対応率：100%以上

来園される全ての方に生物園の魅力を伝え、生物や生命の尊さに気付いてもらうため、解説員や飼育員などによる対応をできるかぎり行えるよう努力していきたいと考えています。そこで、総入園者数に対する延べ対応者数の割合が100%を超えることを目標とします。なお、対応者数としてカウントするのは下記の通りです。

インフォメーション：受付での「見どころ紹介」「イベント案内」「展示案内」など

レンジャートーク：解説員による「生物解説」「質問対応」「展示解説」など

プログラム：対象者のレベルに応じて「導入型」「発展型」「セルフ」など

⑤ 発展型プログラムの目標応募率：120%以上

発展型プログラムは、あらかじめそのテーマに関心を持った方を対象に、より高度な内容で実施するため、募集形式を事前申込にしています。そのため応募状況がそのプログラムの人気（ニーズ）のひとつの目安となります。そこで、定員に対する応募者数の割合を応募率とし、それが120%を超えるよう、タイトルや内容、広報などを工夫していきます。

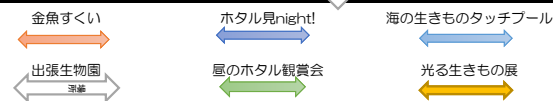
⑥ 導入型プログラムの目標参加率：100%

気軽に参加でき、生物や生命に関心を持つきっかけとなるよう、導入型プログラムは当日申込の形式をとっています。休日には、このプログラムの参加を目的に来園される方も多くいます。

天候などに影響を受けることもありますが、プログラムのニーズの目安として、定員に対する参加者数の割合を参加率とし、それが100%に達するよう努力します。

(4) 平成27年度行事計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	水 ちびっこプログラム	金 ちびっこプログラム	月 休園日	1 水 ちびっこプログラム	土 生きものガイド ヒツジのショー セミの羽化観察会	火	1 木 無料開園日	日 ちびっこプログラム	火 ちびっこプログラム	1 金 年末年始休暇	月 休園日	火
2	木	土 生きものガイド ヒツジのショー	火	2 木	日 ちびっこプログラム	水	2 金	月 休園日	水 ちびっこプログラム	2 土 生きものガイド ヒツジのショー	火	水
3	金	日 ちびっこプログラム	水	3 金	月	木	3 土	火	木	3 日 ちびっこプログラム	水	木
4	土 生きものガイド ヒツジのショー	月 ちびっこプログラム	木	4 土 生きものガイド ヒツジのショー	火	金	4 日	水	金	4 月 休園日	木	金
5	日 ちびっこプログラム	火 ちびっこプログラム	金	5 日 ちびっこプログラム	水	土	5 月 休園日	木	土	5 火	金	土
6	月 休園日	水 ちびっこプログラム	土	6 月 休園日	木	火	6 日	金	日	6 水	土	日
7	火	木 休園日	日	7 火	金	月 休園日	7 水	土	月 休園日	7 木	日	月 休園日
8	水 ちびっこプログラム	金	月 休園日	8 水 ちびっこプログラム	土 生きものガイド	火	8 木	日	火	8 金	月 休園日	火
9	木	土 生きものガイド	火	9 木	日 ちびっこプログラム	水	9 金	月 休園日	水	9 土	火	水
10	金	日 ちびっこプログラム	水	10 金	月	木	10 土	火	木	10 日	水	木
11	土 生きものガイド	月 休園日	木	11 土 生きものガイド Dream night at 生物園	火	金	11 日	水	金	11 月	木	金
12	日 ちびっこプログラム	火	金	12 日 ちびっこプログラム	水	土	12 月	木	土	12 火	金	土
13	月 休園日	水 ちびっこプログラム	土	13 月 休園日	木	火	13 日	金	日	13 水	土	日
14	火	木	日	14 火	金	月 休園日	14 水	土	月 休園日	14 木	日	月 休園日
15	水 ちびっこプログラム	金	月 休園日	15 水 ちびっこプログラム	土 無料開園日	火	15 木	日	火	15 金	月 休園日	火
16	木	土 無料開園日	火	16 木	日	水	16 金	月 休園日	水	16 土	火	水
17	金	日	水	17 金	月	木	17 土	火	木	17 日	水	木
18	土 無料開園日	月 休園日	木	18 土 無料開園日	火	金	18 日	水	金	18 月	木	金
19	日	火	金	19 日	水	土	19 月	木	土	19 火	金	土
20	月 休園日	水 ちびっこプログラム	土	20 月	木	火	20 日	金	日	20 水	土	日
21	火	木	日	21 火	金	月	21 水	土	月 休園日	21 木	日	月 わんフェス
22	水 ちびっこプログラム	金	月 休園日	22 水	土	火	22 木	日	火	22 金	月 休園日	火
23	木	土 生きものガイド	火	23 木	日	水	23 金	月	水	23 土	火	水
24	金	日 公園ツアー「春の昆虫」	水	24 金	月	木	24 土	火	木	24 日	水	木
25	土 生きものガイド	月 休園日	木	25 土 生きものガイド	火	金	25 日	水	金	25 月	火	金
26	日 公園ツアー「チョウを観察」	火	金	26 日	水	土	26 月	木	土	26 火	金	土
27	月 休園日	水 ちびっこプログラム	土	27 月	木	火	27 日	金	日	27 水	土	日
28	火	木	日	28 火	金	月	28 水	土	月 休園日	28 木	日	月 休園日
29	水	金	月 休園日	29 水	土	火	29 木	日	火	29 金	月 休園日	火
30	木	土 生きものガイド	火	30 木	日	水	30 金	月 休園日	水	30 土	火	水
		日 家族でハチミツ搾り!		31 金	月 休園日		31 土		木	31 日		木



Ⅱ 受付業務

1.受付窓口

(1) 年間入園者数の月別推移とその傾向

今年度の生物園総入園者数は 189,281 人（月平均 15773.4 人）、平成 26 年度比 96.0%でした。

平成 26 年度は大規模改修に伴う長期休園明けで、4 月、5 月に施設の収容規模を超えるほどの入園者数があり、結果として年間入園者数が 197,134 人と目標の 17 万人を大きく上回る事ができました。

一方、今年度は突出した月はないものの平均化が図られ、特に 8 月以降は毎月、昨年度の実績を超える結果となりました。年間の総入園者数も目標の 18 万人を超えることができ、目標入園者数に対する実績は、105.2%となりました。

今年度、8 月以降に入園者を増加させることができたのは以下の要因が考えられます。

- ・ニュースレター9月号より全校配布対象校を周辺3校から10校に拡大した
- ・Facebookの導入により、よりタイムリーな情報発信を実現させた
- ・光の祭典との連携強化により、生物園の夜間入園者数を増加させることができた
- ・今年の干支であるコモリスザルを新規導入し、イベントや広報に活用した
- ・年始最初の月曜日（1/4）を特別開園した
- ・大型イベント「わんフェス」や上州屋共催の「家族でつり教室」の広報効果

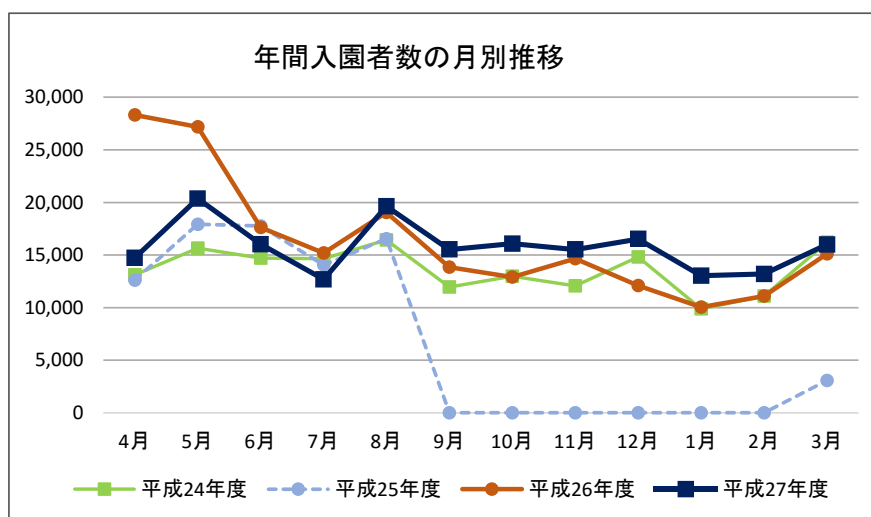
平成 27 年度 生物園入園状況一覧表

(単位：人)

月	有 料 分		(団 体 分)		パスポート購入		計(A)	免 除 分		(パスポート入場)		計(B)	人数合計 (A+B)
	大 人	小中学生	大 人	小中学生	大 人	小中学生		大 人	小中学生	大 人	小中学生		
4	4,207	1,521	43	9	285	126	6,191	1,728	5,050	1,353	405	8,536	14,727
5	6,793	2,342	0	0	386	150	9,671	1,781	6,859	1,570	481	10,691	20,362
6	5,016	1,301	120	15	243	53	6,748	1,842	5,771	1,359	304	9,276	16,024
7	3,606	1,191	3	45	235	87	5,167	1,271	4,677	1,101	460	7,509	12,676
8	6,422	2,680	47	0	202	78	9,429	1,895	6,441	1,295	568	10,199	19,628
9	4,878	1,433	0	0	180	56	6,547	1,460	5,778	1,309	425	8,972	15,519
10	3,991	1,071	86	3	167	60	5,378	1,733	7,107	1,422	436	10,698	16,076
11	4,295	1,183	27	2	141	28	5,676	1,726	6,287	1,406	433	9,852	15,528
12	5,408	1,680	0	0	122	22	7,232	2,299	5,171	1,491	331	9,292	16,524
1	3,845	1,100	0	0	171	37	5,153	1,139	4,910	1,460	372	7,881	13,034
2	3,728	808	0	0	155	24	4,715	1,146	5,433	1,517	378	8,474	13,189
3	4,539	1,412	0	0	146	49	6,146	1,560	6,006	1,725	557	9,848	15,994
計	56,728	17,722	326	74	2,433	770	78,053	19,580	69,490	17,008	5,150	111,228	189,281

平成27年度と過去3年間の月別入園者数推移の比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成24年度	13,116	15,652	14,708	14,650	16,421	11,966	12,978	12,056	14,815	9,876	11,097	16,220	163,555
(24年度累計)	13,116	28,768	43,476	58,126	74,547	86,513	99,491	111,547	126,362	136,238	147,335	163,555	
平成25年度	12,610	17,916	17,762	14,059	16,553	0	0	0	0	0	0	3,069	81,969
(25年度累計)	12,610	30,526	48,288	62,347	78,900	78,900	78,900	78,900	78,900	78,900	78,900	81,969	
平成26年度	28,313	27,196	17,612	15,180	19,051	13,846	12,913	14,649	12,097	10,059	11,103	15,115	197,134
(26年度累計)	28,313	55,509	73,121	88,301	107,352	121,198	134,111	148,760	160,857	170,916	182,019	197,134	
平成27年度	14,727	20,362	16,024	12,676	19,628	15,519	16,076	15,528	16,524	13,034	13,189	15,994	189,281
(27年度累計)	14,727	35,089	51,113	63,789	83,417	98,936	115,012	130,540	147,064	160,098	173,287	189,281	

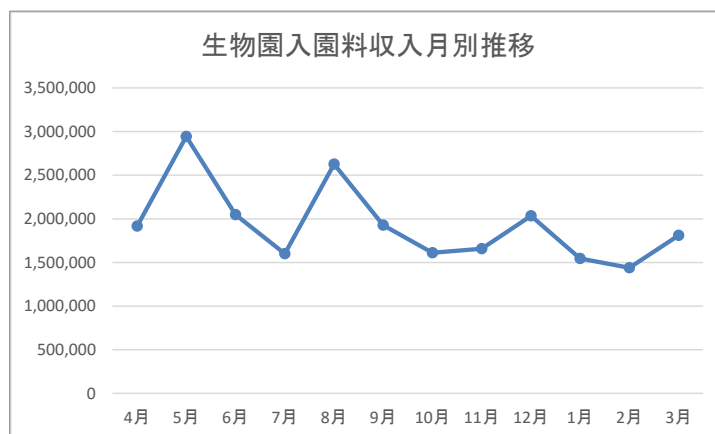


(2) 入園料収入

今年度の生物園の入園料収入は 23,164,800 円となりました。今年度は昨年度にみられたような4月、5月に年間パスポートの購入者が集中するようなことはなく、入園者数の月別推移に比例した入園料収入額の推移となりました。

平成27年度 生物園入園料収入

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1,917,350	2,942,400	2,048,850	1,600,350	2,627,200	1,927,950	1,611,950	1,657,550	2,034,000	1,545,900	1,440,000	1,811,300	23,164,800



(3) インフォメーションの対応実績

受付では入園券の受け取りや年間パスポート作成の他に、来園者に対して適切な情報提供も行いました。インフォメーションは年間113,386回119,499人に実施しました。

生物園の入り口に位置する受付は、来園者にとって最も生物園の印象を受けやすい場のひとつとなります。そのため、より親しみやすく、利用しやすい印象を与えるために、「元気に笑顔で」をモットーに積極的な接客対応を心がけました。

施設内の展示やイベント案内はもちろん、周辺の交通機関や飲食店などの広い範囲の情報提供を行いました。また、来園者と直接やり取りする場面において、要望や意見を敏感に察知し、「来園者の声」として区へ提案し、実現へつなげることで、利用者サービスの向上に努めました。

インフォメーションの年間対応数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
回数	9,603	12,823	10,704	8,025	11,716	10,478	8,663	9,631	6,781	6,346	8,507	10,109	113,386
大人	5,634	7,522	6,727	4,660	6,332	5,929	5,023	5,911	5,960	4,734	5,794	6,552	70,778
子ども	4,143	5,007	4,638	3,576	5,866	4,683	3,764	4,118	2,937	3,148	2,827	4,014	48,721
計	9,777	12,529	11,365	8,236	12,198	10,612	8,787	10,029	8,897	7,882	8,621	10,566	119,499

(4) 来園者の声

来園者に、より満足していただけるように、来園者の要望を真剣に考え、来園者が求めている要望を超えたサービスを提供できるように心がけた対応を行ないました。

月例会議にて区へ報告、提案し、改善へつなげることで、来園者へのサービス向上に努めました。会議で取り上げた1年間のお客様の声を以下の表にまとめました。

要望

	お客様の声	年齢	性別	対応	結果
4月	サル、イルカ、ゾウ、カラカルが見たい	複数	複数	サルについては、リスザルを年内に調達予定 他は現状では難しい	済
	もっと生物園を大きくしてほしい	不明	不明	増築や拡張の予定は今のところありません	済
	蛹展、ヤゴ展をやしてほしい	39	男性	今後の展示計画の中で検討します	済
	バスの時刻表を掲示してほしい	39	男性	トイレわきの壁に掲示済みです	済
	魚の種類を増やしてほしい	9	男性	他の展示との兼ね合いを考慮して随時対応します	済
	ヘビのイベントをやしてほしい	60	男性	毎週土曜日に「ヘビのごはん」毎月第二日曜日に「ニシキヘビと一緒に記念撮影」を行っています	済
	オタマジャクシが欲しい	不明	女性	以前は持ち帰りでしたが、両生類でウイルス性の病気が流行しているため、現在は禁止しています	済
	魚を触るイベントをやしてほしい	6	男性	ふれあい展でガラ・ルファ体験を行っています 夏休みにはタッチプールを開催予定です	済
5月	虫をもっと触りたい	10	男性	まもなく昆虫ドーム内に虫が増えてくるのでそこでふれあいが可能です	済
	ネコやモルモットのイベントを開催してほしい	11	男性	ふれ合いは常設で行っています ちびプロでも時々実施しています	済
	お得な年間パスポートのバリエーションが欲しい ex)夫婦パスポートで2,000円	不明	不明	面白いアイデアなので対応を検討します	
	犬とふれあいたい	11	女性	犬のイベントはドッグフェスタを今後予定しています	済
	フクロウをさわってみたい	10	女性	現在調教中。撫でる程度までの触れ合いを目指しています	済
	楽しくてもう一度金魚すくいをしたい	8	男性	8月に実施予定です	済
	アイスが入荷するのを心待ちにしています	30代	女性	6/5から夏季限定で販売中です	済
ふれあいの団体貸し切り時間が早く知りたい	不明	女性	フェイスブックを利用したの告知を検討します →ホームページ上で告知を開始しました	済	

	お客様の声	年齢	性別	対応	結果
6月	クリスマスのトナカイと写真を撮りたい	不明	女性	冬のホットキャンペーンでクリスマス馬車での記念撮影を予定しています	済
	エイがいなくて寂しい。エイを飼ってください。	8	女性	淡水エイの展示を検討しています	
	スズキ、カブトガニ、フンコロガシ、マグロが見たい	-	-	カブトガニは飼育しているので特別展やうらがわ探検ツアーで紹介可能です。フンコロガシは現在飼育していないが、導入を検討します。	済
	チョウの解説シートが欲しい	複数	女性	販売用にデザインを見直しています →120円で販売開始しました	済
	ミュージアムショップでおにぎり・スイーツを販売してほしい	45	女性	賞味期間の長い物なら対応可能なのでドライフルーツ等を取り扱っています。生ものは難しいです。	済
	チョウがベビーカーにひかれる場面を目撃しました。 地面に吸水のために降りるチョウが多いためベビーカー、車椅子は禁止にするべきだと思います。	36	男性	灌水の時間調整をして、開園中は温室通路に水たまりの無いようにします	済
7月	カニ釣りを平日午後にもやってほしい	不明	男性	カニ釣りの開催時間を曜日に関わらず9:30~16:00とします	済
	アヒル、ワニ、トンボが見たい	複数	複数	トンボは公園や庭園で野生のものが観察できます。アヒル、ワニの予定はありません。	済
	大水槽に死んでいる金魚がいてかわいそうなので回収してほしい	60代	男性	開園前にチェックして清掃しています。ダイビングしなくても取れる方法を模索中です。	済
8月	地下バックヤードが見たい	不明	不明	うらがわ探検ツアーで対応します	済
	地下1階の展示物が少ない	13	女性	スペースが限られているので、増加は困難です	済
	クレーンをもっと強くしてほしい	複数	男性	空調は27度で設定しています	済
	ふれあいコーナーの動物を増やしてほしい	8	女性	動物を増やすことについては、レイアウトを含めて検討しています	済
	カブトムシを売ってほしい	8	男性	生体の販売は行っていません	済
	チョウ・バタ・カブトムシなどのシンボルマークをシールにして販売してほしい	38	男性	おみやげ研究会等で検討します	済
	チョウを放すのは子供優先ですか？	30	女性	基本は子供優先です	済
	ネコのえさやりを試みたい	6	女性	安全性の問題で対応不可です	済
9月	民間の運営になってから、ザリガニ釣りがなくなったりモルモットに持参したエサをあげられなくなって残念。 犬をさわりたい。	49	女性	ザリガニ釣りではないが、カニ釣りを常設している →1月よりザリガニ釣りに変更しました	済
	足立の生活に関連した生きものについてもっと知りたい。	32	女性	ドッグフェスタで対応します	済
	オカメインコやセキセイインコを増やしてほしい。	39	男性	あだちの生きもの観察室で対応しています	済
	綾瀬川や荒川にいる魚全種を見てみたい。	10	女性	繁殖用の巣箱を設置しています。繁殖はしているが、死んでいる個体もいるので現状は微増となっています	済
	傘を売ってほしい。	30	男性	全種類は難しいです	済
		複数	複数	販売に向けて検討中です	
10月	生きもののもっと詳しい説明書きがほしい。	20	男性	QRコードを利用してより詳しい解説を行っています	済
	金魚水槽でもっと大きな魚を飼育してほしい	27	女性	当面は金魚水槽のままの予定です	済
	コウモリ、イトウ、コーカサスオオカブトが見たい	複数	複数	コウモリは移動動物園で対応可能です、コーカサスオオカブトは現在幼虫を飼育中です	済
	大水槽でニシキゴイを飼ってほしい	53	男性	当面は金魚水槽のままの予定です	済
	ネコの誕生日が知りたい	10	女性	捨て猫なので誕生日は不明です	済
11月	水生昆虫をもっとたくさん見たい	8	男性	特別展で対応します	済
	クリスマス馬車に乗りたい	8	男性	クリスマスに実施予定です	済
	ポニーに乗りたい	7	女性	年明け移動動物と共に実施予定です	済
12月	夜間開園の時も外(庭園?)に出たい	9	女性	安全管理上禁止としています	済
	カブトムシ・クワガタムシの捕り方講座を開催してほしい	16	男性	女王アリは展示中、ドクターフィッシュは春のふれあい展で展示予定、ハクビシンは予定ありません	済
	金魚水槽に入ってみたい	8	男性	安全管理上難しいです	済
1月	ヒラメ・モルフォ蝶・カメレオン・コモドラゴンが見たい	複数	複数	ヒラメは改修工事後展示予定です カメレオンは情報収集 モルフォ蝶・コモドラゴンは難しいです	済
	女王アリが見たい。	7	男性	女王アリは展示中、ドクターフィッシュは春のふれあい	済
	ドクターフィッシュが見たい。	6	女性	展で展示予定です	
	猫の部屋は並ばないと入れず、ハンディキャップがあり無理だった。使いやすくしてほしい。	47	女性	通常のふれあい時間前後にハンディキャップ用の特別枠を5分くらいとれないか検討してみます	
受付にお客さんがいて邪魔なので、受付に集まらせるのはやめて下さい。	11	女性	小学生が集まりがちなので、通行の邪魔にならない側(観葉植物側)に誘導します	済	

	お客様の声	年齢	性別	対応	結果
2月	つりの時間とモルモットの時間を長くしてほしい。	10	女性	これ以上長くするのは難しいです	済
	白いヘビの展示回数を増やしてください。	41	女性	2期工事が予定通り完成すれば、常設展示が可能です	済
	ふくろうのエサをあげる体験がやりたい。	6	男性	ふれ合いになれて、安全が確保できれば検討します →28年5月より実施	済
	カブトムシにさわりたい。	7	男性	あたくなれば、昆虫ドームで可能です	済
	犬とも触れ合えるといいな。	30	女性	わんフェスで対応します	済
	カマキリの赤ちゃんが見たい！	—	—	スタッフに声がけしてもらえば出来る限り対応します	済
3月	熱帯魚、淡水魚、海水魚を増やしてほしい。	11	女性	水槽の改修工事が完了すれば魚類の展示が増えますので今しばらくお待ちください	済
	イベントで屋台をひらいたりしてほしい。女の子に人気のかわいい動物を出してほしい。	10	女性	より具体的なご意見がいただければ検討します	済

意見・感想

	お客様の声	年齢	性別	対応	結果
4月	ネコ部屋のスタッフに監視されているようで気分が悪い。子供がそっと触っているのにいちいち注意をされた。	5?	女性	お客様とネコの安全のためにスタッフが常駐しています。ご理解ください。	済
	駐車場が分からなかった	35	男性	バス専用駐車場の看板のところに案内看板の設置を検討します →新しいサインに刷新	済
5月	今度は母も連れて来たいと思います	18	男性		済
	パンが売り切れていてショックだった	30	男性	賞味期限が短いため、数量限定で販売しています。	済
	・金魚すくいの係の人がうるさくて集中できなかった ・ポイが薄くなっていていつもより取れなかった ・金魚が弱っている	14	女性	破れたポイを水につけていると水質が悪くなり、金魚が弱ってしまうので注意をしています。尚、ポイは昨年と同様のものを使っています。	済
	・毎年参加しているが、今年は係の人がうるさくて子供が楽しめなかった ・ポイが年々薄くなっている ・以前と係の人が違うのでつまらない	46	女性		
	チョウのエサやりをやっている飼育員の言葉がきつく疑問を感じた。前回も同様だったのでコメントした(5/4)	不明	女性	チョウの触り方を間違えるとチョウが弱ってしまうために注意をすることがあります。	済
インコが外に出ている	複数	複数	わかる範囲での隙間をふさぐ予定です。	済	
6月	先週、今週と2週続けて伺いましたが、先週は明らかにホタルが少なくて残念でした。交通費をかけてきているので展示物は十分な内容であってほしいものです。	36	男性	ホタルの頭数は各回でほぼ一緒だったが、ホタルの光出しが遅い回がありました。おすすめの観賞時間帯をアナウンスする等の対応をとりました。	済
	ホタルのガイドツアーのTV画面の漢字が難しくて子供が読めない	45	男性	漢字にはルビを振ります。	済
7月	子供のころから元洲江公園に来ていますが小鳥のゲージやナナフシの展示所がなくなっていて残念	42	女性		済
	券売機で札が使えない	複数	複数	修理対応済みです	済
8月	洲江公園にクヌギもコナラも植わっていないのは何故？	65	男性	クヌギもコナラも植わっております	済
	カニがなかなかつかなくてつまらない エサが古い？	10	女性	古いエサは都度交換しています	済
	金魚は小さいのがたくさんいる方が良かった	不明	男性	今後、小さいものも補充する予定です	済
9月	竹ノ塚駅にポスターが貼ってあったので来てみました。	70代	女性		済
	ハチミツを1年待ちました。一人一個は残念。	70代	男性	数に限りがあるため、制限しています	済
	休憩所が狭すぎる。	40	女性	公園をご利用ください。雨天時は譲り合いをお願いいたします。	済
	きつずルームのネコからの感染が心配。	不明	女性	利用後の手洗いと、ひっかかれた場合の消毒を徹底しています	済

	お客様の声	年齢	性別	対応	結果
10月	カマキリが少ないのでは	12	男性	カマキリは共食いの危険性があるのでケージごとに個別展示を行っています	済
	セキセイインコが逃げている	複数	複数	逃げた個体は捕獲済みです。オージードームの補修工事を予定しています。 →実施済み	済
11月	おもちゃ箱が中止になって残念	多数	多数		済
	無料の施設じゃないのか？ (夜間開園時)	多数	多数		済
12月	温室の木が丸坊主になっていてかわいそうだった	65	男性	病気の治療のために強い剪定を行いました。ご了承ください。	済
	チョウの温室が怖かった。気持ち悪い生き物がいっぱいいた。	12	女性		済
2月	土日はイベントが多く楽しめました。料金を取るのはいいと思うがもう少し安いと助かる。アンケートを書く場所にボールペンがないのは困る。	24	女性	常時筆記具があるような状態を保ちます	済
	小さい子が走り回ったり、キヤー！と大きい声を出しているので注意してほしい	14	女性	サインでの注意喚起や、スタッフによる口頭の注意は出来る限り行っております。	済
	ピラルクー前のところが毎回濡れるので何とかしてほしい。	40代	男性	来年度の補修予定です	
	ザリガニ釣りのマナーが悪い人がいる。ザリガニが死にそうで可哀想。	30代	女性	スタッフが定期的に見ているが、貼り紙も検討します →張り紙による注意喚起を行いました	済
3月	1階のチンチラがいるトンネルの中が臭い。	10	男性	清掃と消毒を徹底します	済

感謝・お礼

	お客様の声	年齢	性別	対応	結果
4月	近くに生物園があって幸せです	76	女性		-
	バタフライガーデンに感動しました	不明	女性		-
	楽しいしかけで、子供と一緒に楽しませてもらっています	43	男性		-
5月	安い金額で十分楽しめました	40	女性		-
	15年ぶりくらいに来たが、園内が以前に増してきれいに明るくなっていてびっくりした。また来ます。	25	女性		-
6月	いきものパン美味しかった	10	女性		-
	トイレが綺麗だった	9	女性		-
	質問にスタッフの方々が丁寧に答えてくださったたり、子供たちの興味にじっくり付き合ってくださったり貴重な場所です。1時間半かけて来たかがありました。	7?	男性?		-
	区民の日無料で助かります	16	女性		-
7月	いつもきれいに清掃されていて気持ちよく利用できます	不明	女性		-
	折り紙がすごかった	35	女性		-
	チョウの飼育員さんの説明が丁寧で、大きくなったらチョウの研究をしたい	10	女性		-
	ナマコがすごくかわいかった	8	女性		-
	ヒトデを触るのが面白かった	10	女性		-
	金魚が素晴らしい。スタッフも素晴らしい。	不明	不明		-
8月	金魚すくいが楽しみです	10	女性		-
	素敵な園でびっくりしました。また来たいと思います。	42	女性		-
	昔からよく来ています。ここ数年展示に工夫があり楽しめます。	54	女性		-
9月	生きものと触れる機会になりとてもためになりました。	63	女性		-
	特にチョウのドームが素敵。足立区の宝物だと思います。	55	男性		-
10月	初来園です。「見せかた」が面白くとてもよかったです	43	男性		-
11月	サルが増えていてびっくりした。	10	女性		-
	新しいイベントを楽しみにしています	13	女性		-
12月	コンサートのために来たが、想像以上に展示が良かった	36	男性		-

	お客様の声	年齢	性別	対応	結果
1月	94歳の祖母(車いす)と孫たちで来たのですがお猿さんと家族の記念撮影ができラッキーでした！ お正月中の開館、職員さんにご苦労様ですが、ありがとうございます！！	64	女性		-
	前よりもイベントが増え良かったです。これからもよろしく願います。	9	男性		-
	展示の仕方・工夫が素晴らしいです！ スタッフの方達もアットホームさを感じられ大変感動しました。	50	女性		-
2月	300円でこのクオリティはすごい！！	28	女性		-
3月	子供がとても喜んでくれたのでまた近いうちに来たいです。ふれあい動物、ザリガニ釣り楽しかったです。 ひつじのショーは3月が誕生日でお祝いしてもらえて良かったです。	42	女性		-
	犬が良いです(ドッグフェス)	10	女性		-

また、お客様の満足度を把握するために、通常取り上げられないポジティブなご意見の割合を以下の表にまとめました。

○意見・感想	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
楽しかった	10	21	10	31	30	13	13	11	26	19	3	12
素晴らしい	2	2	2	5	3	3	1	0	0	5	0	2
動物がかわいかった	0	1	0	3	1	5	0	1	3	1	2	6
説明が良かった	2	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1
子供が喜んでた	0	2	1	0	1	2	0	0	0	0	0	1
勉強になった	1	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0
蝶々がきれい	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0
展示方法が良い	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
イベントがたくさんで良い	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
施設が綺麗	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
トイレが綺麗	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
触合える距離が近くていい	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
色々な動物が見れて良かった	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
パンが美味しかった	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金魚がすごい	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ホタルがすごい	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イルミがきれい	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
サルと記念撮影出来良かった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
合計	19	28	17	42	36	23	16	14	33	27	8	25
○回収枚数	82	94	73	97	111	70	61	71	99	67	61	87
○有効枚数	71	83	69	83	95	59	54	60	90	60	56	78
○割合(全体)	23.2%	29.8%	23.3%	43.3%	32.4%	32.9%	26.2%	19.7%	33.3%	40.3%	13.1%	28.7%
○割合(有効)	26.8%	33.7%	24.6%	50.6%	37.9%	39.0%	29.6%	23.3%	36.7%	45.0%	14.3%	32.1%



(※有効枚数：アンケート回収枚数から明らかなイタズラ書きなどを除いたもの。)

一年間を通じての割合は29.6%で、平成26年度の28%をわずかに上回りました。お叱りの声が少なくなれば、自然とポジティブな意見の割合も増えますので、満足度が向上していると考えます。

月別の推移については、アンケートの性質上初来園のお客様が回答する機会が多いと思われるので、ゴールデンウィークのある5月、夏休み期間の7～8月、光の祭典とも重なる12月に多くの回答をいただいています。月ごとの満足度については、数年間データを蓄積してデータを考察して傾向について把握したいと思います。

2.ミュージアムショップの利用状況と売上実績

(1) 利用状況

平成 27 年度のミュージアムショップ（以下ショップ）利用者数は 47,907 人、商品購入者数は 14,169 人でした。ここでのショップ利用者とは、ショップ内に立ち入り、商品を眺める、触れる、商品についてスタッフに尋ねるといった行動をした人数を指します。全入園者数に対して、ショップを利用したのは約 25%、ショップで商品を購入したのは約 7.5%にあたります。全入園者には、校外学習で訪れた幼稚園生や小学生、介護施設の団体利用などショップに立ち寄らない利用者も含まれます。教育関係や介護施設といった免除申請の利用者を引いた入園者数でみると、ショップを利用したのは約 48%、商品を購入したのが約 14%となります。

ショップの月別利用者数			
	ショップ利用者数	ショップ購入者数	入園者数
4月	4,085	967	14,727
5月	4,932	1,120	20,362
6月	3,642	1,230	16,024
7月	3,198	1,246	12,676
8月	5,738	1,996	19,628
9月	3,963	1,353	15,519
10月	3,803	1,236	16,076
11月	3,451	1,036	15,528
12月	4,279	1,062	16,524
1月	4,017	1,030	13,034
2月	2,838	916	13,189
3月	3,961	977	15,994
計	47,907	14,169	189,281
平均	3,992	1,181	15,773

全入園者数に占めるショップ購入者の割合を年度別に表したのが、以下のグラフです。平成 22 年度は 4.2%でしたが、毎年増加し続けており、平成 27 年度は初めて 7%を超えました。カプセル商材（ガチャ）など、リピーターのお客様でも来る度に購入していただけるようなコレクション性の高い商品を入れたことも、購入者増加の一つの理由と考えられます。

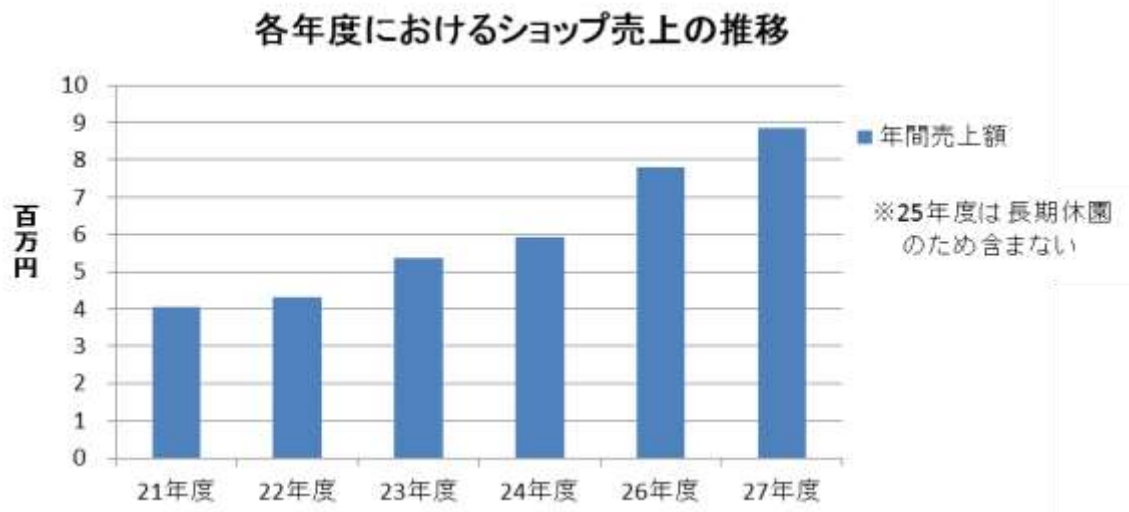


(2) 販売状況

① 年間売上額

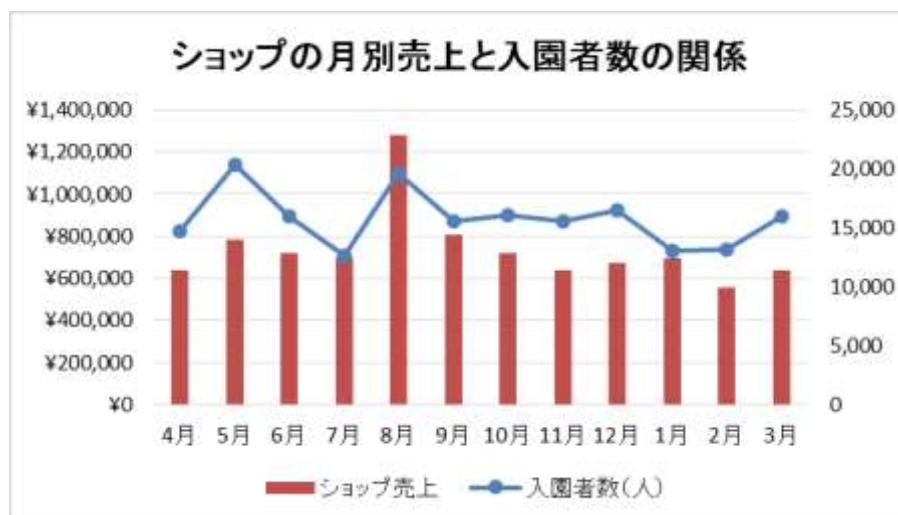
平成 27 年度のショップ売上額は 8,854,130 円で、当初の目標であった売上 750 万円を大きく上回りました。このショップ売上額には、食品およびミュージアムショップの前に設置されているカプセル商材（ガチャ）の売上額を含んでいます。また、足立区の有料頒布物「荒川の昔」はショップで販売していますが、別会計で売上を全て区に納めているため、ショップの売上には含まれません。

ミュージアムショップ開店から平成 27 年度までの、各年度におけるショップ年間売上額の推移をまとめたものが以下のグラフです。平成 21 年に開店して以来、毎年順調に売上を伸ばしています。特に平成 27 年度は、入園者数が前年より少なかったにもかかわらず、ショップの売上は増加し、過去最高額となりました。



② 月別販売状況

各月のショップ売上額と入園者数を比較したものが次のグラフです。



8月の売上額が突出する傾向が、昨年以上に顕著に出ました。月間売上額が120万円を越えるのは、過去初めてのことです。夏休みのため入園者数自体が多いこともありますが、それ以上に入園者に占める商品購入者の割合が高かったことが大きな要因となっています。アイスの夏季限定販売や、標本作製グッズの販売を行ったことなどが、購入者増加の一因となったのではないかと考えられます。

また、全体的な傾向として8月以外の月の売上額が安定したことが挙げられます。昨年度は10月、12月、1月、2月の月間売上額が40万円台になりましたが、今年度は全ての月で50万円以上の売上となりました。来園者の減少する冬季に、1,000円以上をお買い上げの方にプレゼントを差し上げるキャンペーンを行ったり、冬季限定商品の販売を行ったりしたことで、売上の落ち込み防止に一定の効果がみられたといえます。

① 客単価

客単価はショップの売上額をのべ購入者数で割ったものです。最も客単価が高かったのは5月で、最も低かったのは7月でした。これは、ゴールデンウィークを含む5月は家族連れの利用者が多く、反対に夏休みが始まったばかりの7月はお子さんだけの利用が多かったためではないかと思われます。

26年度との月別客単価の比較			
	26年度	27年度	26年度との差額
4月	¥632	¥657	¥25
5月	¥685	¥698	¥13
6月	¥666	¥587	¥-79
7月	¥537	¥566	¥29
8月	¥559	¥642	¥83
9月	¥497	¥599	¥102
10月	¥575	¥580	¥5
11月	¥588	¥615	¥27
12月	¥514	¥633	¥119
1月	¥591	¥678	¥87
2月	¥583	¥605	¥22
3月	¥615	¥654	¥39
平均	¥588	¥626	¥38

また、平均客単価は626円で、平成26年度よりも38円の増加となりました。月別客単価を平成26年度と比べると、6月を除く全ての月で増加しています。単価の低い商品が良く売れる傾向は昨年までと変わらず、売上個数が1~19位の商品は全て500円以下のものでした。それでも平成27年度の平均客単価が600円を超えた理由としては、お一人で複数個の商品を買われるお客様が増加したということが挙げられます。特に、クッキーやドライフルーツ、パンなどは、昨年度までよりも種類を増やして選べるようにしたためか、お一人で3つ、4つとお買い上げになるお客様が多くなったように感じています。来年度も、生物園オリジナルのいきものパンなどを中心に、新しい種類を積極的に展開していく予定です。

(3) 商品展開

生物園のミュージアムショップは、単なる「おみやげもの屋さん」ではなく、生物園での体験や感動をアフターフォローできるようなグッズを提供することを目指しています。平成 27 年度は、取引先を増やしてこれまでになかった商品を入れたほか、標本作製関連のグッズの取り扱いや、生物園オリジナル商品の開発にも力を入れました。

① 取り扱い商品について

平成 27 年度に取り扱った商品は 47 法人 403 種で、9 法人が新たに取引先業者として加わりました。以下が新たにお取引を開始した企業一覧です。

平成27年度新規取引先一覧		
取引先名	取り扱い商品	説明
黒柳昌樹	チョウの便箋	昆虫写真家、自然科学写真協会理事
(株)ワトー	ワラビーのおとしもの	区内のきな粉菓子製造・販売企業
(有)プリントアート	昆虫ペーパークラフト	区内のクラフトデザイン企業
NPO法人エコロジー夢企画	スタンプ、タッチペン	区内のNPO法人
(株)夏目	3Dノート	動物園・水族館グッズの製作・販売企業
(株)東京サイエンス	カプセルガチャ化石	化石・鉱物専門の販売企業
安斉俊	昆虫ステッカー	個人の漫画家
横溝了一	パズル、クリアファイル	個人のイラストレーター
(株)ハピネット	カプセルQシリーズ	玩具の製造・販売企業

本年度の大きな特徴として、「生物園お土産研究会」に参加されている区内企業とのお取引が挙げられます。(詳細は「連携事業」に別途記載)

また、個人の写真家、漫画家、イラストレーターさんともお取引を行うようになりました。その一例である横溝氏は、生物の繋がりや生態を学ぶことのできる「絵合わせパズル」や「絶滅動物ファイル」といったグッズを製作しています。大手の仲卸業者が扱う商品は他の動物園や水族館と同じものになりがちなため、こうした個人のクリエイターとも取引を行い、他の施設とは違った、生物園らしい商品の展開を意識しました。

② 標本作製グッズの取り扱い開始

「標本の作製に使用する本格的な道具を販売して欲しい」という要望がスタッフとお客様の双方から出ていたことを受け、本年度より昆虫針、標本箱、展足板、展翅板といった標本作製グッズの取り扱いを開始しました。

ショップの店内にも「標本をつくろう」のセルフガイドを置いたほか、「夏の昆虫大集合！」展では展示している道具に“2 階ミュージアムショップにて販売中”のマークをつけるなど、展示と連携したショップ作りに力を入れました。利用者からは、「昆虫標本教室に参加したけれど、昆虫針なんてどこで売っているか分からなかったので助かります。」という声も聞かれました。また、「カブトムシの標本を作りたいのだけれど、昆虫針は何号を使えばいいですか。」といった質問にも、常駐する解説員が対応し、ミュージアムショップとして商品を販売するだけではないサービスを提供することができました。

③ 生物園オリジナル商品の開発・販売

生物園ならではのオリジナル商品の開発・販売を行いました。

7月に発売した「チョウの観察シート」は、利用者より「大温室の観察シートは販売していないの?」、「家でもぜひ使いたい」といった声を多数いただいていたことから、商品化に至ったものです。販売にあたって、もともと大温室にあった観察シートを大幅にバージョンアップして片面に幼虫編を追加したほか、チョウの行動を観察する際のポイント等も加えました。利用者からは、「120円でこの情報量だったらお得ね」、「これを使って家に来ているチョウの種類も調べてみます」といった良い反応をいただいております。発売から平成27年度末までの約8ヶ月間で、353枚を売り上げました。

11月に発売したきな粉菓子、「ワラビーのおとしもの」も、話題を呼んでいます。新聞に取り上げられたこともあり、発売から4カ月で早くも生物園のお土産として多くのお客様に認識されています。今後、味の違うものを作ってシリーズで展開することも視野に入れ、検討しています。

また、生物園で飼育しているミツバチが集めたはちみつの販売も行いました。発売から17日間で完売し、「次回もまた買いたい」という声も多く聞かれました。中には「はちみつを買うために、初めて生物園に来園した」、「ミツバチの内検が見られることを今回初めて知った」といったお客様もいらっしゃり、売上以上の効果があったといえます。

こうした施設オリジナルの商品は、そこで見たことを記憶に留めたり、自宅に帰ってから思い出してもらったりする上で、効果が高いといわれています。また、「ここでしか買えない」という限定感からお土産としても良く売れる傾向にあります。今後も、飼育・解説と連携しながら、生物園らしいオリジナルグッズの展開に努めてまいります。

Ⅲ 展示解説業務

1. 展示解説実施および対応実績

生物園・元湊江公園を活用し、数々の催しを開催しました。自主事業では生物園のテーマ「ふれあい・いのち・共生」を踏まえた内容のプログラムを行いました。当日募集のプログラムの中には、未就学児でも楽しめる「ふれあいプログラム」と、生きものに興味や興味を持った方を対象にした「導入型プログラム」の性質が違う2つのプログラムを行いました。また事前募集のプログラムでは生きものや自然により深い興味・関心を持たせる「発展型プログラム」を行いました。

団体向けには通常の生物園内での団体向けプログラムを中心とした団体対応や、小学校へスタッフが赴きプログラムを行う出張授業を行うなど、団体利用を促進しました。

また職場体験やインターンなど中学校や大学・専門学校などで行われる総合学習に対しても積極的に対応を行いました。

生物園以外の施設と連携した施設連携も積極的に行い、園内のプログラムはもちろん他施設へ出張して行うプログラムも行い、お互いの利用促進に努めました。

また区民に向けては生物園・元湊江公園で活動を行うボランティアを飼育系と解説系の2つ運営し活動を行いました。

生物園・元湊公園の魅力やレジャー機能を向上させるために、魅力的な常設展を展開し、また定期的に特別展・企画展を開催することで飽きずに楽しめる運営を心がけました。

平成 27 年度イベント開催数など

番号	事業	回数	応募者数	参加者数	備考
1	当日募集	55	0	261,899	
2	事前募集	13	778	421	
3	団体プログラム	8	0	6,365	} 団体対応
4	出張授業	7	0	535	
5	総合学習	40	0	96	対応者数
6	施設連携	13	0	15,080	
7	ボランティア	2	0	47	登録人数
8	特別展	6	0	0	
9	企画展	25	0	0	
	合計	169	640	284,443	

※数値は環境事務評価の集計方法にのっとり、開催回数は同テーマで行われたプログラムは複数回を1回にまとめて計上しております。

平成27年度当日募集イベント開催数

番号	名称	回数	応募者数	参加者数	備考
	当日募集				
1	カニ釣り	1		26,606	毎日開催
2	きっずルーム	1		21,144	毎日開催
3	チョウを放そう	1		8,040	毎日開催
4	ヒツジのショー	1		645	毎日開催
5	魚のごはん	1		12,017	毎日開催
6	昆虫のごはん	1		4,004	毎日開催
7	哺乳類ふれあいコーナー	1		103,306	毎日開催
8	爬虫類のごはん	1		8,196	毎日開催
9	ミツバチの飼育	1		285	毎週日曜日(冬季を除く)
10	生きものガイド	1		789	毎週土曜日開催(第3週を除く)
11	公園の生きもの探しツアー	1		187	毎週第4日曜日開催
12	ニシキヘビと記念撮影	1		832	毎週第3日曜日開催
13	うらがわ探検ツアー	1		197	毎週第2日曜日開催
14	まーしー園長のガイドツアー	1		250	毎週第1日曜日開催
15	ちびっこプログラム	1		595	毎週水曜日開催
16	春のふれあい	1		20,209	春のふれあい展連動プログラム
17	セミの抜け殻観察	1		1,712	夏の昆虫展連動プログラム
18	クリスマスパズル	1		1,264	クリスマス展連動プログラム
19	アサリ神経衰弱	1		1,669	奇想天貝展連動プログラム
20	タッチプール	1		10,461	夏期開催
21	わんフェス	1		3,032	大型イベント
22	アートクラフト	1		2,089	生きものアート展連動プログラム
23	アートな生きものふれあい	1		1,433	生きものアート展連動プログラム
24	生きものお絵かき教室	1		22	
25	移動動物園	1		583	
26	干支の引継ぎ式	1		80	
27	お正月カルタ	1		792	
28	カブトムシ・クワガタムシにさわろう	1		710	
29	金魚すくい	1		7,944	
30	クリスマス馬車で記念撮影	1		213	
31	コオロギ相撲	1		18	
32	ゴキブリたち！	1		529	
33	こどもクイズ王選手権	1		47	
34	昆虫マスタースタンプラリー	1		358	
35	昆虫を育てよう！	3		76	
36	スポットガイド「公園の自然」	1		10	
37	生物園night!コンサート	1		109	
38	体感！生きもの観察会	1		33	
39	チョウの飼育体験	1		11	
40	ナイトツアー「熱帯の世界」	1		553	
41	ヒツジの毛刈り	1		68	
42	冬のホタル観賞会	1		4,166	
43	ホタルのガイドツアー	1		828	
44	ホタルの観賞会	1		9,144	
45	ポニー乗馬	1		253	
46	寄せ植え教室	1		16	
47	荒川カルタ	1		419	
48	出張プラネタリウム	1		589	
49	生きもの折り紙教室	1		35	
50	探して！育てよう！	2		58	
51	昼のホタル観賞会	1		4,331	
52	来年の干支「申」リスザルと一緒に記念撮影！	1		942	
	小計	55		261,899	

※数値は環境事務評価の集計方法にのっとり、開催回数は同テーマで行われたプログラムは複数回を1回にまとめて計上しております。実際の開催数は「自主事業の実施」の項目を参照してください。

平成 27 年度事前募集イベント開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	事前募集				
1	家族でハチミツ搾り！	1	89	24	
2	生物園に泊まろう	1	116	29	
3	セミの羽化観察会	1	76	44	
4	昆虫標本教室	1	22	19	
5	解剖！サメの研究会	1	24	22	
6	虫のうちで染め物体験	1	17	12	
7	ヒツジの毛でクラフト	1	30	20	
8	解体！スズメバチの巣	1	49	24	
9	生きものアートコンテスト	1	46	46	
10	蜜蝋キャンドルを作ろう！	1	33	20	
11	イカスミで書初め	1	25	21	
12	家族でつり教室	1	138	41	
13	Dream night at the Zoo	1	113	99	
	小 計	13	778	421	

平成 27 年度団体対応開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	団体対応				
1	ウェルカムトーク・お見送りトーク	1		4,510	年間数回実施
2	クイズラリー	1		960	年間数回実施
3	足立区の生きもの	1		105	年間数回実施
4	生きものふれあい	1		533	年間数回実施
5	生物園ガイドツアー	1		40	年間数回実施
6	チョウの一生	1		150	年間数回実施
7	小学校教員講習	2		67	年間数回実施
	小 計	8	0	6,365	

※数値は環境事務評価の集計方法にのっとり、開催回数は同テーマで行われたプログラムは複数回を 1 回にまとめて計上しております。実際の開催数は「団体対応」の項目を参照してください。

平成 27 年度出張授業開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
	出張授業				
1	チョウの飼育	2		155	年間数回実施
2	モルモット	1		93	年間数回実施
3	校庭観察	4		287	年間数回実施
	小 計	7	0	535	

平成 27 年度総合学習開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	総合学習				
1	職場体験	13		45	対応者数
2	職場訪問	7		19	対応者数
3	インターン	14		22	対応者数
4	学芸員実習	6		10	対応者数
	小 計	40	0	96	

平成 27 年度施設連携開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	施設連携				
1	講演会「西新井区民事務所」	1		72	
2	らんちゅう倶楽部	1		1,715	
3	レザークラフト「篠原刃型」	1		220	
4	手づくりはんこワークショップ(安心堂)	1		629	
5	出張蜜蝋キャンドルを作ろう!「ギャラクシティ」	1		38	
6	出張生物園「ギャラクシティ」	1		397	
7	出張生物園「しょうぶ祭り」	1		1,868	
8	出張生物園「パサージュオ西新井」	1		5,849	
9	出張生物園「環境フェア」	1		1,442	
10	出張生物園「舎人公園」	1		1,776	
11	出張生物園「大谷田公園梅まつり」	1		1,044	
12	生物園ツアー「越谷市ひまわり児童館」	1		15	
13	足立の学びを見に行こう!「生涯学習センター」	1		15	
	小 計	13	0	15,080	

平成 27 年度ボランティア登録人数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	ボランティア				
1	昆虫飼育ボランティア	1		30	登録人数
2	生きものふれあいボランティア	1		17	登録人数
	小 計	2	0	47	

平成 27 年度特別展・企画展開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	特別展				
1	春のふれあい展	1			生きもの研究室
2	夏の昆虫大集合!	1			生きもの研究室
3	生物園のクリスマス展	1			生きもの研究室
4	生物園のお正月展	1			生きもの研究室
5	奇想天貝展	1			生きもの研究室
6	生きものアート展	1			生きもの研究室
	企画展				
1	水辺の生きもの展	1			生きもの研究室
2	エイプリルフール展	1			生きもの研究室
3	父の日展	1			生きもの研究室
4	母の日展	1			生きもの研究室
5	ハロウィン展	1			休憩コーナー
6	鳴く虫の飼い方	1			休憩コーナー
7	身近な生きものの飼い方	2			休憩コーナー
8	ツシマウラボシシジミの保全活動	3			大温室
9	チョウを探しにでかけよう!	1			チョウの飼育室前
10	夏休み チョウの自由研究	1			チョウの飼育室前
11	チョウを探して、育ててみよう	1			チョウの飼育室前
12	イモムシ総選挙	1			チョウの飼育室前
13	冬でもチョウを飛ばすヒミツ	1			チョウの飼育室前
14	七夕の短冊	1			出会いの広場
15	ひな祭り	1			出会いの広場
16	八重山の生きもの展	1			むしむしコーナー
17	虫の親子関係展	1			むしむしコーナー
18	カブトムシ・クワガタムシ展	1			むしむしコーナー
19	カマキリ展	1			むしむしコーナー
20	ゴキブリ展	1			むしむしコーナー
21	奇々怪々な「蟲」展	1			むしむしコーナー
22	日本の両生類展	1			両棲類爬虫類テラリウム
	小 計	31			
	合 計	169	778	284,443	

また、これらの展示解説業務の他にも、来園者に対して質問・相談や展示解説を直接聞くレジャートークを実施する場面を多く提供しました。解説員の常駐する生きもの研究室中心に実施し、解説はもちろん質問や相談の対応も行いました。本年度は年間 42,346 回 83,691 人に実施しました。

レジャートークの年間対応数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
回数(回)	2,728	3,571	2,956	3,022	6,072	4,246	3,876	3,807	2,731	2,172	3,240	3,925	42,346
対応人数(人)	5,396	7,639	5,919	5,817	10,771	7,722	7,802	7,039	5,741	4,400	6,995	8,450	83,691

2. 夜間特別開園の実施

(1) ホタル見 night!の夜間特別開園

6月5日から21日の金・土・日曜には特別イベント「ホタル見 night!」として夜間特別開園を行いました。実施中は 18:00-21:00 までの特別夜間開園のほか、大型展示ケースを使った室内での展示「ゲンジボタルの観賞会」を目玉企画として行いました。またホタルにちなんだ展示や「ホタルのガイドツアー」も行い、充実したイベント開催を目指しました。

「ホタル見 night!」に合わせて実施したプログラム実績

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数(人)		
			大ホタルのガイドツアー	ホタルの観賞会	合計
ゲンジボタルの観賞会	6月5日～6月21日の金・土・日	9	5,138	4,006	9,144
ホタルのガイドツアー	6月5日～6月21日の金・土・日	9	493	335	828
	計	18	5,631	4,341	9,972

(2) 光の祭典夜間特別開園

11月28日～12月25日まで元漕江公園で開催される「光の祭典」にあわせ、土・日曜に夜間特別開園を行いました。本年度は特別夜間開園を例年より1時間早く開催し、17:00 から 21:00 までの間行いました。また昨年度に続けて「冬のホタル観賞会」と「ナイトツアー熱帯の世界」も実施しました。

また 12月24日の夜には新たに「生物園 night コンサート」を実施、アコースティックライブをクリスマスイブの夜に楽しんでいただきました。

「光の祭典」に合わせて実施したプログラム実績

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数(人)		
			大ホタルのガイドツアー	生物園 night コンサート	合計
冬のホタル観賞会	11月28日～12月23日(土日祝)、12月24日25日	11	2,653	1,513	4,166
ナイトツアー「熱帯の世界」	11月28日～12月23日(土日祝)、12月24日26日	11	345	208	553
生物園nightコンサート	42,728	1	64	45	109
	計	23	3,062	1,766	4,828

3.自主事業の実施

(1) 特別イベント

年に数回大規模なテーマを定めた特別なイベントを行いました。テーマに合った展示はもちろん、さまざまなプログラムもまとめることで、季節ごとに異なる生物園を楽しめるよう工夫しました。

特別イベント開催内容一覧

	区分	内容	実施日
ふれあいキャンペーン 4月1日～5月31日	展示	特別展「春のふれあい展」	4月1日～5月31日
	プログラム	寄せ植え教室	4月5日～4月6日
		寄せ植え教室	4月4日,5日
		らんちゅう倶楽部	4月26日
		レザークラフト「篠原刃型」	5月2日,3日
		探して！育てよう！ダンゴムシ	5月6日
		探して！育てよう！アリ	5月4日
		体感！生きもの観察会	5月5日
		ヒツジの毛刈り	5月9日,17日
		家族でハチミツ搾り！	5月31日
ホタル見night! 6月5日～6月21日	展示	企画展「水辺の生きもの展」	6月3日～7月12日
	プログラム	ゲンジボタルの観賞会 ホタルのガイドツアー	6月5日～6月21日 の金・土・日
	その他	夜間特別開園	
夏休みキャンペーン 7月15日～8月30日	展示	特別展「夏の昆虫大集合！」 企画展「カブトムシ・クワガタムシ展」	7月15日～9月13日
	プログラム	海の生きものタッチプール	7月15日～8月30日
		昆虫を育てよう！「カブトムシ」	7月19日
		昆虫を育てよう！「チョウ」	7月20日
		昆虫を育てよう！「バッタ」	7月26日
		昆虫マスタースタンプラリー	7月22日～8月30日
		生物園に泊まろう	7月22日
		公園の生きもの探しツアー「セミ探し」	7月26日
		セミの羽化観察会	8月1日
		昆虫標本教室	8月2日
		里山の生きもの調査隊	8月6日～8月7日
		金魚すくい	8月13日～8月16日
		公園の生きもの探しツアー「夏の昆虫」	8月23日
		解剖！サメの研究会	8月23日
		アートキャンペーン 9月16日～11月23日	展示
プログラム	アートクラフト		9月17日～11月6日(毎日)
	アートな生きものふれあい		9月16日～11月22日
	生きものアートコンテスト		応募式
	生きものお絵かき教室		10月12日
	生きもの折り紙教室		9月20日
	虫のうんちで染め物体験		10月4日
	ヒツジの毛でクラフト		10月18日
解体！スズメバチの巣	10月25日		
ウインターキャンペーン 11月28日～2月1日	展示	特別展「生物園のクリスマス展」 特別展「お正月展」	11月26日～12月27日 1月2日～2月1日
	プログラム	冬のホタル観賞会 ナイトツアー「熱帯の世界」	11月28日～12月23日 の土・日・祝
	その他	夜間特別開園	12月24日、12月25日
	プログラム	蜜蝋キャンドルを作ろう！	12月20日
		生きものへクリスマスプレゼント	12月23日
		クリスマスパズル	11月26日～12月27日
		来年の干支「申」リスザルと一緒に記念撮影！	11月28日～12月13日(土日)
		屋のホタル観賞会	1月2日～1月11日
		お正月カルタ	1月2日～1月31日
		干支の引き継ぎ式	1月3日
		こどもクイズ王選手権	1月11日
		コオロギ相撲	1月17日
		イカスミで書初め	1月24日
		移動動物園	1月31日
		ポニー乗馬	1月31日

● アートキャンペーン

アートキャンペーンは芸術の秋に合わせて行った特別イベントで、9月16日から11月23日までの期間に行われました。期間中は生きものと芸術をテーマにした特別展「アートな生きもの展」を実施しました。擬態、警告色など見た目や構造の特徴的な生きもの生体展示の他、巣などの生きものが作り出す建造物の展示、また芸術家たちによる生きものアート展示を行いました。また展示に合わせ「生きものアートコンテスト」を実施し、子供から大人まで好きな生きものに関する絵画や造形物などの作品を募集し、特別展でも展示しました。

「生きものアートコンテスト」は計46名からの応募があり、スタッフによる審査を行い年齢（未就学児、小中学生、一般）ごとに優秀賞、最優秀賞を決めました。そして11月1日は生物園にて授賞式を行い、優秀者、最優秀者へ賞状や景品の授与が行われました。当日、観覧に来た来園者には今回の応募作品がデザインされた缶バッチの配布も行われました。

展示内でも折り紙など生きものに関するクラフトを行う「アートクラフト」や特徴的な見た目の生きものに触ることができる「アートな生きものふれあい」を行いました。

それ以外にもアートをテーマにしたプログラムを多数行いました。中でも「生きもののお絵かき教室」や「生きもの折り紙教室」は、生きものに関するプロの芸術家を講師として向かえたよりアートに迫ったプログラムです。生きもの作品を作りながら生きもの体の巧みさに気付くことができます。両プログラムとも自分の作品を大切に持ち帰る参加者の姿が見られました。

(2) ふれあいプログラム

ふれあいプログラムは当日募集で、来園者が行える生きものへのエサやりや生きものに直接手でふれ体験できるプログラムです。このような直接的な体験は、未就学児のような低い年齢層の来園者にも、効果的に興味や関心を引き出すことができます。

ふれあいプログラム内容一覧

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数(人)			
			大人	小人	合計	
アートな生きものふれあい	9月16日～11月22日	39	256	1,177	1,433	
カニ釣り	毎日	197	12,266	14,340	26,606	
カブトムシ・クワガタムシにさわろう	7月18日～9月13日	19	291	419	710	
きッズルーム	毎日	294	9,922	11,222	21,144	
金魚すくい	年間数回	10	3,872	4,072	7,944	
クリスマス馬車で記念撮影	12月24日、25日	3	105	108	213	
ゴキブリたち！	11月7日～12月27日(土日)	18	233	296	529	
タッチプール	7月18日～8月30日	44	4,259	6,202	10,461	
チョウを放そう	毎日	311	3,635	4,405	8,040	
ヒツジの毛刈り	5月9日、5月17日	2	30	38	68	
ヒツジのショー	毎月第1土曜日	12	335	310	645	
魚のごはん		447	5,746	6,271	12,017	
昆虫のごはん	毎日	278	1,401	2,603	4,004	
春のふれあい	4月1日～5月31日	48	9,011	11,198	20,209	
哺乳類のふれあいコーナー	毎日	336	48,032	55,274	103,306	
爬虫類のごはん	毎日	352	3,876	4,320	8,196	
リスザルと記念撮影！	11月28日～12月13日(土日)	6	456	486	942	
		計	2,416	103,726	122,741	226,467

本年度は17種類のふれあいプログラムを行い、計2,416回実施し226,467人に対応を行いました。各種生きもの「ごはんの時間」は時間をずらして開催することで、いつ

来園しても楽しめるようにしました。特にダイバーが潜水して行う金魚へのごはんはイベントごとに衣装を替えて実施し、季節感を演出しました。

また年末とお正月に新年の干支「申」と記念撮影が出来るプログラム「リスザルと記念撮影」を行いました。お正月をイメージできる背景の前で、リスザルのすぐ近くに並んで記念撮影を行っていただきました。年末は年賀状用の撮影をするためか多くの家族づれが訪れ、季節感の演出と参加者への記念になりました。

(3) 導入型プログラム

導入型プログラムは当日募集で気軽に楽しめるプログラムで、生きものに関心や興味を持った方をターゲットとしています。

導入型プログラム対応数一覧

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
生きものガイド	毎週土曜日※第3を除く	38	202	573	775
ちびっこプログラム	毎週水曜日※祝祭日、夏休みを除く	40	278	317	595
まーしー園長のガイドツアー	毎月第1日曜日	12	117	133	250
うらがわ探検ツアー	毎月第2日曜日	12	90	107	197
公園の生きもの探しツアー	毎月第4日曜日	12	82	105	187
チョウの飼育体験	不定期	5	0	11	11
アートクラフト	9月17日～11月6日(毎日)	60	593	1,496	2,089
アサリ神経衰弱	2月3日～3月31日	49	609	1,060	1,669
生きもののお絵かき教室	10月12日	1	4	18	22
移動動物園	1月31日、2月11日	2	255	328	583
干支の引き継ぎ式	1月3日	1	40	40	80
お正月カルタ	1月2日～1月31日	26	257	535	792
クリスマスパズル	11月26日～12月27日	28	438	826	1,264
コオロギ相撲	1月17日	1	0	18	18
こどもクイズ王選手権	1月11日	1	0	47	47
昆虫マスタースタンプラリー	7月22日～8月30日	37	0	358	358
昆虫を育てよう!「カブトムシ」	7月19日	1	0	35	35
昆虫を育てよう!「チョウ」	7月20日	1	1	20	21
昆虫を育てよう!「バッタ」	7月26日	1	3	17	20
スポットガイド「公園の自然」	9月11日	1	2	8	10
生物園nightコンサート	12月24日	1	64	45	109
セミの抜け殻観察	7月18日～8月30日	44	0	1,712	1,712
体感!生きもの観察会	5月5日	1	13	20	33
ナイトツアー「熱帯の世界」	11月28日～12月25日(期間内土日祝)	11	345	208	553
ニシキヘビと記念撮影	毎月第2日曜日	12	366	466	832
冬のホタル観賞会	11月28日～12月25日(期間内土日祝)	11	2,653	1,513	4,166
ホタルのガイドツアー	6月5日～6月21日(金土日)	9	493	335	828
ホタルの観賞会	6月5日～6月21日(金土日)	9	5,138	4,006	9,144
ボニー乗馬	1月31日、2月11日	2	0	253	253
ミツバチの飼育見学	毎週日曜日(雨天、冬季を除く)	21	128	157	285
寄せ植え教室	4月4日、5日	2	16	0	16
荒川カルタ	6月6日～7月12日	23	137	282	419
出張プラネタリウム	7月4日、5日	2	300	289	589
生きもの折り紙教室	9月20日	1	12	23	35
探して!育てよう!アリ	5月4日	1	12	16	28
探して!育てよう!ダンゴムシ	5月6日	1	15	15	30
昼のホタル観賞会	6月27日～7月5日(土日)、1月2日～1月11日	14	2,201	2,130	4,331
わんフェス	3月21日	1	1,820	1,212	3,032
生きものへクリスマスプレゼント!	12月23日	1	0	14	14
	計	496	16,684	18,748	35,432

※「わんフェス」については、P.157 参照。

本年度は年間で計 496 回実施し 35,432 人に対応を行いました。定員を設けたプログラムの参加者率は目標である 100%を上回り、105%でした。

定期的に関催される「生きものガイド」「ちびっこプログラム」などは毎回テーマを変えて行っているプログラムで来るたびに新しい楽しみがあります。また展示にあわせ折り紙、カルタ、パズルなど、解説員や親、子供同士と一緒に遊ぶことが出来るプログラムを実施しました。

(4) 発展型プログラム

発展型プログラムは事前募集で、より深く生きものや自然について学べるプログラムです。興味・関心の高い層をターゲットとしており、人の共生を考える内容や、解剖などの高度なプログラムも行いました。

発展型プログラム対応数一覧

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数(人)			応募人数 (人)
			大人	小人	合計	
家族でハチミツ搾り!	5月31日	1	14	10	24	89
Dream night at the zoo	7月11日	1	51	48	99	113
生物園に泊まろう	7月22日	1	0	29	29	116
セミの羽化観察会	8月1日	1	22	22	44	76
昆虫標本教室	8月2日	1	0	19	19	22
解剖! サメの研究会	8月23日	1	0	22	22	24
虫のうんちで染め物体験	10月4日	1	8	4	12	17
ヒツジの毛でクラフト	10月18日	1	4	16	20	30
解体! スズメバチの巣	10月25日	1	2	22	24	49
生きものアートコンテスト	11月1日	1	13	33	46	46
蜜蝋キャンドルを作ろう!	12月20日	1	8	12	20	33
イカスミで書初め	1月24日	1	0	21	21	25
家族で釣り教室	3月26日	1	21	20	41	138
計		13	143	278	421	778

※「家族でつり教室」については、P.162 参照。

本年度は年間で計 13 回実施し 421 人に対応を行いました。年間の総応募率は目標であった 120%を大きく上回る 239%でした。

● アートキャンペーンと連動した発展型プログラム

アートキャンペーン期間中には「虫のうんちで染め物体験」「ヒツジの毛でクラフト」など、モノ作りや加工を通じて生きものをより深く知ってもらうことを目的としたプログラムを実施しました。「虫のうんちで染め物体験」では、生物園で飼育しているチョウやガの幼虫、ナナフシなどの昆虫のフンを使って、染め物体験を行いました。70代の方から小学生の方まで幅広い方に参加いただきました。「ヒツジの毛でクラフト」では生物園のヒツジの毛を使ってコースター、マスコット作りしました。クラフトを通じ生きものが自分の日常生活に関わっていることを実感して頂きました。

● 専門性の高い発展型プログラム

生物園のもつ専門性の高いスタッフならではのプログラムも行いました。「解体! スズメバチの巣」では、生きたスズメバチの入った巣を解体しながら、スズメバチの生態や社会性昆虫の特徴に気付いてもらいました。

安全管理上、高い専門技術や知識を必要とするプログラムですが、参加者には貴重な体験を提供することが出来ます。それ以外にも解剖や養蜂など専門性の高いプログラムを数多く行いました。

3. 区民協働活動の推進・支援

生物園は区民参加型の協働施設を目指しており、本年度も区民参加のボランティア活動を行いました。ボランティアは生物飼育の補助を行う「昆虫飼育ボランティア」と、来園者への解説対応を行う「生きものふれあいボランティア」の2つのボランティア運営を行いました。

(1) 昆虫飼育ボランティア

昨年度まではチョウとその他の昆虫のボランティアが分かれていましたが、本年度からは二つのボランティアを合併し「昆虫飼育ボランティア」としました。活動はボランティア登録者が任意の日付と時間を選び活動を行う通常の活動と、昆虫ドームなどの展示施設の整備を行う定期的な活動があります。また参加者向けの講習会なども行いました。

昆虫飼育ボランティア活動一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
その他(第2週)	内容	説明会	チョウの飼育講座	なし	ボランティア交流会	なし	水生昆虫飼育講座	なし	ボランティア交流会	なし	陸生昆虫飼育講座	なし	ふりかえり	
	参加人数(人)	25	17		11		20		8		16		20	117
通常活動	回数(回)	20	30	29	23	25	27	30	28	25	24	24	29	314
	参加人数(人)	82	103	83	69	58	78	72	65	51	65	56	80	862
													計	979

本年度は30人の登録があり、年間314回、のべ979人の参加がありました。活動により飼育や消耗品などの飼育補助や、植替えや害虫駆除など屋外での管理作業が充実しました。また講習会では飼育補助の技術を高めるための飼育講座や、ボランティア同士の交流を深めるための交流会を行いました。通常活動に加えてこれらの講習会を行うことで、活動意欲の向上につなげることができました。

(2) 生きものふれあいボランティア

生きものふれあいボランティアはふれあいプログラムの補助、展示解説活動を行うボランティアです。活動は開園日のうち登録者が任意の日付と時間を選び活動を行うものです。また月に1回勉強会を行い、解説に必要な技術について伝えました。

生きものふれあいボランティア活動一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
その他(第3週)	内容	説明会	水辺の生きもの	夏の昆虫	海の生きもの	標本	擬態	解説	クリスマス	お正月	貝	カエル	ふりかえり	
	参加人数(人)	21	16人	14人	13人	12人	10人	12	14人	9人	13人	12人	10	43
通常活動	回数(回)	4	12	15	16	15	18	15	15	13	12	12	8	155
	参加人数(人)	28	25	29	34	29	36	27	29	25	21	19	16	361
													計	404

本年度は17人の登録があり、年間155回、のべ404人の参加がありました。ボランティア活動により、多くの来園者に充実したふれあい体験や解説を行うことができました。また解説の補助だけでなくハンズオン展示の作成も行いました。ボランティアが展示を作成することで、より来園者対応に対する関心を引き出すことが出来ました。

4. 団体対応

生物園には幼稚園、小・中学校などの教育施設はもちろん、デイサービスなどの介護施設、一般団体など年間を通してたくさんの団体利用があります。本年度は 862 団体、計 19,662 人の利用があり、総来園者数の約 10.4%を占めていました。これらの団体のうち希望のあった団体には解説員による団体プログラム対応を行いました。また、それ以外の団体対応として、園外へ出張して行う出張授業や、中学校・専門学校、大学への実習対応も行いました。

(1) 団体プログラム

園内でのプログラム対応を行った団体は、のべ 82 団体、計 6,298 人でした。小学校には、園内の見どころや注意事項を紹介する「ウェルカム・お見送りトーク」や「クイズラリー」等

団体プログラム活動一覧

プログラム内容	回数(回)	対応人数(人)		
		大人	小人	合計
ウェルカムトーク・お見送りトーク	55	298	4,212	4,510
クイズラリー	11	33	927	960
生物園ガイド	2	35	5	40
足立区の生きものガイド	2	5	100	105
チョウの一生	2	11	139	150
生きものふれあい	10	65	468	533
計	82	447	5,851	6,298

のプログラムを提供しました。なかでも本年度は様々な種類の生きものをさわり比べる「生きものふれあい」が人気で、小学校などさまざまな団体から要望がありました。

(2) 出張授業

本年度も小学校を対象とした出張授業を行いました。本年度は6種の出張プログラムを用意し、教員向けの資料を小学校に配布するなど積極的に広報を行いました。その結果、小学校 7 校に実施し対応人数は計 535 人でした。実施したプログラムは「チョウの飼育体験教室」や「校庭の生きもの観察」など、2年生生活科や3年生理科の授業に合わせたものが多かったです。

実施日	団体名	プログラム内容	対応人数(人)		
			大人	小人	合計
6月9日	足立区立弘道小学校	チョウの飼育体験教室	2	61	63
6月12日	足立区立千寿第八小学校	チョウの飼育体験教室	2	91	93
10月15日	足立区立青井小学校	校庭の生きもの観察	2	62	64
10月16日	足立区立古千谷小学校	校庭の生きもの観察	2	89	91
10月19日	足立区立西新井第二小学校	校庭の生きもの観察	2	60	62
11月12日	足立区立保木間小学校	校庭の生きもの観察	2	67	69
2月5日	足立区立伊興小学校	モルモットと仲良くなろう	3	90	93
合計 7団体			15	520	535

(3) 教職員向け講座

小学校の教員を対象とした講座で3種のプログラムを用意しました。本年度は2回67人に対応を行いました。どちらも小学校の理科部会で、授業で使える手法や実施例を、教員の要望を聞きながら紹介しました。

実施日	団体名	プログラム内容	大人(人)
9月9日	墨田区立小学校理科部会	顕微鏡と微生物観察	22
3月2日	足立区小学校理科部会	校庭の生きもの	45
合計 2団体			67

(4) 実習対応

本年度は職場体験・訪問、インターン、学芸員実習、緑化企業実習と5種類の実習対応を行いました。

職場体験は、13校 45人に対応を行いました。実施中は園内のいくつかの業務を数日に分けて体験することができ、各種飼育や解説業務（プログラム・展示作成）などを体験しました。また体験後はそれぞれの適正に気付き将来設計に役立てられるよう振り返りを行いました。

職場体験対応一覧

実施対象	体験開始日	期間	人数(人)	
			対応人数	のべ対応人数
足立区立東栗島中学校	5月14日	2日間	5	10
足立区立第五中学校	6月24日	2日間	3	6
足立区立青井中学校	6月24日	2日間	3	6
足立区立第四中学校	7月8日	3日間	2	6
足立区立第九中学校	7月13日	2日間	4	8
足立区立扇中学校	7月14日	3日間	2	6
足立区立第十四中学校	9月3日	2日間	3	6
足立区立洲江中学校	9月16日	2日間	3	6
足立区立千寿桜堤中学校	9月15日	3日間	3	9
足立区立花畑北中学校	10月6日	2日間	3	6
足立区立第十中学校	11月17日	3日間	5	15
足立区立西新井中学校	11月26日	2日間	4	8
足立区立第十三中学校	2月2日	3日間	5	15
		計	45	107

職場訪問は7回19人に対応を行いました。ほとんどが動物園や水族館に関心のある生徒で、「生きものを仕事にする上で大切な事は何か？」など仕事に関する様々な質問に対応しました。

職場訪問対応一覧

実施対象	実施日	対応人数(人)
足立区立四中学校	7月8日	5
足立区立花畑北中学校	6月2日	3
開智中学校	8月13日	1
田嶋中学校	8月15日	1
立教大学	9月27日	1
足立区立第十中学校	1月29日	4
足立区立第五中学校	2月4日	4
	計	19

インターンは専門学校や大学など14回22人に対応を行いました。全ての学生が生物学や飼育を専門にしている、キャリアアップのために実践的な飼育や解説体験を行いました。

インターン対応一覧

実施対象	体験開始日	期間	人数(人)	
			対応人数	のべ対応人数
沖縄ペットワールド専門学校	5月15日	4日間	2	8
国際動物専門学校	6月14日	14日間	1	14
大阪エコ動物海洋専門学校	7月20日	14日間	1	14
帝京科学大学	8月13日	14日間	1	14
東邦大学	9月1日	5日間	4	20
ペット&アニマル専門学校	9月14日	8日間	1	8
日本獣医畜産大学	9月18日	7日間	1	7
東京コミュニケーションアート専門学校	10月16日	16日間	1	16
川原学園動物専門学校	10月21日	30日間	1	30
国際動物専門学校	10月11日	14日間	1	14
大宮国際動物専門学校	10月11日	14日間	1	14
玉川大学	2月16日	6日間	1	6
東京農業大学	2月29日	5日間	5	25
中央動物専門学校	3月9日	7日間	1	7
		計	22	197

学芸員実習は大学での学芸員資格を取得するために必要な実習で、2回10人に対応を行いました。実習では博物館に必要な展示やプログラム作成に対する講習や、生物飼育など複合的な講習や体験実習を行いました。

学芸員実習対応一覧

実施対象	体験開始日	期間	人数(人)	
			対応人数	のべ対応人数
帝京科学大学	8月21日	10日間	4	40
日本獣医畜産大学	8月21日	10日間	1	10
川村学園女子大学	8月21日	10日間	1	10
東京海洋大学	8月21日	10日間	1	10
琉球大学	8月21日	10日間	1	10
日本獣医生命科学大学	2月12日	10日間	2	20
		計	10	100

5. 展示による解説

(1) 常設展

本年度は今までの常設展に加えて、新たに生物園の実施する域外保全に関する展示「ニホンイシガメの保全」「ツシマウラボシジミの保全」の二つの展示を開設しました。

「ニホンイシガメの保全」は地下飼育室に設け、展示コーナー一体をパネルで覆いながらニホンイシガメの文化的なつながりや現状について紹介しました。「ツシマウラボシジミの保全」はチョウの飼育室前に設けた展示で、今までの生物園で行われたツシマウラボシジミの保全の経緯や生活についてパネルで紹介しました。

(2) 企画展・特別展

来園者にいつ来ても新鮮な内容で楽しめるように定期的に入れ替える展示を園内各所で行いました。

●企画展

企画展は比較的小規模な展示です。本年度は28回の企画展を園内各所で行いました。

本年度はむしむしコーナーや生きもの研究室で行われる企画展のほかにも、季節や行事に合わせた「母の日展」や「生物園のハロウィン展」などの展示を増やし、来園回数が多いお客様にも季節を感じながら楽しんでいただけるよう心がけました。

タイトル	展示場所	開始	終了				
エイプリルフール展	生きもの研究室	4月1日	4月1日	奇々怪々な「蟲」展	むしむしコーナー	1月2日	3月31日
母の日展	生きもの研究室	5月9日	5月10日	両生類展	両爬テラリウム	6月3日	7月12日
水辺の生きもの展	生きもの研究室	6月3日	7月12日	チョウ飼育のヒミツ	チョウの飼育室	4月1日	6月9日
標本展	生きもの研究室	6月3日	7月12日	チョウを探しにかけよう	チョウの飼育室	6月10日	7月31日
父の日展	生物園全体	6月20日	6月21日	チョウの自由研究	チョウの飼育室	8月1日	8月31日
身近な生きもの飼ひ方	休憩コーナー	4月1日 11月3日	9月27日 3月31日	チョウを探して育てよう	チョウの飼育室	7月20日	9月13日
秋の虫の飼ひ方	休憩コーナー	9月29日	10月18日	イモムシファッションショー	チョウの飼育室	9月16日	11月23日
生物園のハロウィン展	休憩コーナー	10月20日	11月1日	イモムシファッションショー 投票結果	チョウの飼育室	11月14日	12月27日
八重山の生きもの展	むしむしコーナー	4月1日	5月31日	いつでもチョウの飛んでるヒミツ	チョウの飼育室	11月25日	3月31日
虫の親子関係展	むしむしコーナー	6月3日	7月12日			5月12日 7月6日 9月7日	5月19日 7月16日 9月20日
カブトムシ・クワガタムシ展	むしむしコーナー	7月15日	9月13日	ツシマウラボシジミ	大温室		
カマキリ展	むしむしコーナー	9月16日	11月1日	七夕	であいの広場	6月30日	7月7日
ゴキブリ展	むしむしコーナー	11月4日	12月27日	ひな祭り	であいの広場	2月27日	3月3日

●特別展

特別展は特別イベントや特別な生体展示と合わせて開催される展示で、本年度は6回開催しました。全ての特別展が生きもの研究室全体を使って開催しました。

展示中は展示テーマへの興味を引き出すきっかけとして、生体のふれあいやカードゲーム等のハンズオン展示を行いました。なかでも「アートな生きもの展」では、職員オリジナルの折り図も用いた生きもの折り紙を行いました。

タイトル	展示場所	開始	終了
春のふれあい展	生きもの研究室	4月1日	5月31日
夏の昆虫大集合!	生きもの研究室	7月15日	9月13日
アートな生きもの展	生きもの研究室	9月16日	11月23日
生物園のクリスマス展	生きもの研究室	11月26日	12月27日
生物園のお正月展	生きもの研究室	1月2日	1月31日
奇想天貝展	生きもの研究室	2月3日	3月31日

また、展示に応じた他施設との連携も行いました。「夏の昆虫大集合！展」では荒川ビクターセンター、桑袋ビオトープ公園とのスタンプラリーを実施し、「生物園のお正月展」では足立区立郷土博物館からの借用資料を展示しました。

6. 印刷物による解説

(1) セルフガイド

セルフガイドは生物園の展示をより楽しめるような生きものなどに関する情報や家庭でできるプログラムや生きもの飼育についてまとめた配付物です。A4白黒三つ折で、手軽に持ち帰ることができるようになっています。

セルフガイド配布状況一覧

No	セルフガイドタイトル	配布数(枚)												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	きらわれものいきものたち	0	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	20
2	しいくシリーズ① カブトムシ	12	68	142	154	224	20	0	0	0	0	0	0	620
3	バタフライ・ウォッチング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	イヌ 人とであう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	流氷の天使クリオネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	209	148	357
6	標本をつくらう！カブトムシ編	0	0	40	51	215	66	39	9	40	0	0	20	480
7	荒川とそこにすむ魚たち	0	0	54	26	40	29	11	0	20	40	190	65	475
8	標本をつくらう！チョウ編	0	0	20	33	176	45	17	20	29	20	0	40	400
9	魚の口じまん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	ハチのふしぎのせかい	48	32	10	0	25	61	54	0	0	0	0	0	230
11	干潟のいきもの	38	37	0	27	133	20	40	0	0	0	0	0	295
12	のぞいてみようミクロの世界	0	0	0	20	0	0	0	0	60	60	57	65	262
13	ホタルのふしぎ	65	158	272	64	122	69	85	40	120	60	47	81	1,183
14	うんちのひみつ	20	0	0	0	0	45	65	50	20	60	70	66	396
15	アリの世界	93	67	0	36	56	48	17	23	0	0	40	46	426
16	水生昆虫大研究	84	54	78	48	110	56	73	41	0	20	350	62	976
17	チョウのうんこ染めに挑戦	0	0	0	0	0	13	47	20	20	0	0	0	100
18	鳴く虫のはなし	0	0	0	0	0	75	125	20	0	0	0	0	220
19	カエルがわかる	117	53	67	0	20	0	0	0	20	60	114	47	498
20	虫の冬ごし	0	0	0	0	0	0	0	20	120	60	112	80	392
21	東京の生物多様性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	ハットとおどろく菌のはなし	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
23	生きもの伝説ウソ?!ホント?!	32	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
24	セミの親どころ 見分けどころ?	0	0	0	137	303	40	0	0	0	0	0	0	480
25	みつつけてかんさつダンゴムシ	84	111	0	0	0	0	40	0	18	40	0	100	393
26	生きものっていい漢字!	26	0	0	0	0	0	40	0	60	0	0	0	126
27	イモムシのエサさがし!	49	11	0	0	20	0	16	4	0	0	0	0	100
28	むしとりをしよう!	46	32	33	38	243	26	0	0	0	0	0	0	418
29	金魚を飼う	95	301	101	20	310	40	181	20	40	80	60	100	1,348
30	とぶ飛ぶ跳ぶ生きもの	46	51	68	0	20	19	60	20	40	0	20	0	344
31	カマキリを飼う	0	54	71	37	160	118	200	60	20	0	0	0	720
32	ナミアゲハを飼う	0	0	0	0	0	180	111	164	40	80	80	140	795
33	虫たちの巣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	60
34	池で釣りをしよう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	46
	合計	858	1,037	956	691	2,177	970	1,241	511	667	580	1,349	1,166	12,203

本年度はセルフガイドを 12,203 部 配布しました。配布したセルフガイドの種類は 34 種類のうち3種類は新規に作成したものです。

新規に作成したセルフガイドは飼育の仕方を紹介する「ナミアゲハを飼う」と、特別展に連動したセルフガイド「虫たちの巣」、発展型プログラムに連動したセルフガイド「池で釣りをしよう」です。

(2) ニュースレター

ニュースレターは A4 両面フルカラーの印刷物で、表面は生物園の展示やプログラムなどのイベント案内を中心とした広報媒介ですが、裏面には解説的な内容を掲載しています。広報媒介に解説的な内容を織り込むことにより、ニュースレターをより読みたくなるようにしました。

ニュースレター裏面のコラム一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一面	春のふれあい展	春の金魚すくい	ホタル見night!	夏休みの自由研究	涼を楽しもう!	カマキリ展
生きものみどころ情報	リーフフィッシュ	コオイムシ	セキセイインコ	チンチラ	アナウサギ	アサギマダラ
解説員のひとりごと	川遊びスタート!	金魚すくいの思い出	雨の日の友達	アイスの美味しい季節	生きもの絵日記	虫の声
ちょっとひといき	テントウムシ算	生きものなぞなぞ	枝であみだくじ!	干潟の間違い探し	正面かおクイズ!	手足はどれかな?
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一面	アートな生きもの展	ゴキブリ展	夜間特別開園	お正月は盛りだくさん	移動動物園	わんフェス
生きものみどころ情報	マルメタビオカガエル	トランスルーセント・グラスキャット	トッケイヤモリ	フトアゴヒゲトカゲ	コモンリスザル	タイワンサソリモドキ
解説員のひとりごと	ステキノコ探し	アボガド食ベタネ補えタネ	石とぼーっとする時間	冬の宝探し	ヒキガエルの思い出	実物大ビルマクラ
ちょっとひといき	生きもの点つなぎ	どうやって移動する?	生きものクロスワード	テントウムシパズル	節分めいろ	おさかなパズル

裏面の内容にはそのときに見ごろの生きものについて紹介した「生きものみどころ情報」、スタッフの目線で生きものや自然の楽しみ方を紹介する「解説員のひとりごと」、クイズやゲームなどのお楽しみ要素を生物園風に作成した「ちょっとひといき」の計 3 コラムを掲載しました。

7. 連携事業

元漕江公園・生物園では周辺の地域や企業・団体と連携した施設運営を行うことで、地域に愛され利用される施設を目指しています。今年度もさまざまな施設・企業・団体との連携を行いました。

● 元漕江公園・生物園利用推進協議会

元漕江公園・生物園利用推進協議会は地域の利用者や企業、団体、学校と意見交換会を行い、要望や意見を汲み取り利用促進やサービス向上につなげるものです。今年度もミュージアムショップが中心となって、足立区の多様な企業とともに生物園のお土産を開発する「生物園お土産研究会」を 2 回開催しました。

7 月 30 日のお土産研究会は、節目の第 10 回目ということもあり、ゲストとして東武動物公園のミュージアムショップを担当されている下様、新井様をお招きしました。東武動物公園の売れ筋商品や失敗した商品のお話を聞くことで、研究会として意義があったのはもちろん、「生物園で売れた実績のある商品を東武動物公園でも販売することは可能か。」という質問に対して「大手のメーカーと違って小ロットでオリジナルの商品が作れるというのは、大変魅力的。」という回答があるなど、足立区のものづくりを発展させていくという点でも、有意義な意見交換ができたといえます。

3月23日のお土産研究会は、初めて飼育担当のスタッフが参加し、新商品の提案を行いました。飼育スタッフから直接生きものの魅力や是非見てほしいポイントを紹介したことで、企業側からも「是非かわいいグッズをつくりたいですね。」「できるかどうか考えてみます。」といった良い反応が得られました。また、9月に生物園でワークショップを行った(株)安心堂がその報告をしたこともあり、「うちもワークショップをやってみたい。」「足立区内の企業が共同でワークショップをやるというのも面白いのではないか。」といった提案がありました。

また、区内企業の方々からの「お土産研究会で開発した商品を他の施設にも展開してみたい。」「生物園の繋がりを活かして他の施設を紹介して欲しい。」という声を受け、お土産研究会とは別に勉強会という形で有志メンバーを募って、12月2日に東武動物公園の見学を実施しました。前半は、東武動物公園のミュージアムショップ担当者へのプレゼンテーションという形で生物園でのお土産研究会の取り組みや、足立区のものづくり企業の商品を紹介し、後半は東武動物公園のミュージアムショップを案内していただきました。参加者からは「入園料だけで1,700円もかかる東武動物公園と、300円の生物園とでは、お土産にかかる金額も当然違ってくる。入園料が高いとお土産の単価も高くなるように思う。」「生物園は生物園の入園料、客層に見合ったお土産を提供することが大切だろう。」といった感想が聞かれました。

● 地元企業・団体との連携

生物園ではミュージアムショップを中心に、足立区の企業や団体と連携した商品の開発や販売を行っています。今年度は新たに、(株)ワタトー、(有)プリントアート、NPO法人エコロジー夢企画との取引を開始しました。また、(有)篠原刃型、(株)安心堂によるワークショップを実施しました。

(株)ワタトーは、きな粉菓子の製造・販売を行う区内の老舗です。今年度、(株)ワタトーと生物園のコラボレーションで、ワラビーの糞を模した一口サイズのきな粉菓子、「ワラビーのおとしもの」を開発しました。11月の発売当初から新聞などに取り上げられ、話題になっていたということもあり、年度末までの約4か月間で282個を売り上げました。

(有)プリントアートはTASKのものづくり大賞を受賞されている区内のクラフトデザイン企業で、お土産研究会にも以前から参加して下さっています。7月30日のお土産研究会の中で、昆虫のペーパークラフトをご提案いただき、委託販売にて取り扱いはじめました。カブトムシ、クワガタムシ、チョウ、ハチ、カマキリ、トンボの6種類各2枚ずつの12枚セットで販売しています。のりを使わずに、はさみだけで作れる簡単なクラフトという点で、生物園に訪れるお子さんに人気です。

NPO法人エコロジー夢企画からは、昨年、「生きものの足跡が捺せるスタンプを作ってみたい。」というご提案があり、生物園で生きものの足跡をとって提供するなど協力を行いました。完成したスタンプはミュージアムショップで買い取り、販売しています。また、「あしあとクイズ」を提供したいというご要望に応え、クイズの問題を生物園で作成しました。

地元企業によるワークショップとしては(有)篠原刃型が平成24年から毎年、革を使ったアニマルクラフトを行っています。平成27年度はこれに加え、新たに(株)安心堂が、太陽光を使ったはんこ作りのワークショップを行いました。お土産研究会でご提案いただき、生物園と(株)安心堂で話し合いを重ねて実施に至りました。はんこのデザインは5種類の中から選べるようになっており、いずれも生物園の生きものをモチーフにしたオリジナルの柄を提供しました。

●ギャラクシティとの連携

ギャラクシティは西新井にある児童文化・科学施設です。生物園に位置が近く、来園者の多くが未就学児や小学生とその保護者と利用層が近い施設です。しかし生物園の来園者はギャラクシティを周知していることが少なく逆も同様なため、お互いの連携を行うことで来園者増を狙うことができます。

本年度は昨年度に引き続き、相互プログラム・展示協力の他に平成 28 年度に向けた番組撮影などを行いました。相互プログラム協力では、生物園で実施した「生物園に泊まろう」内で星の観望会を実施していただいたほか、昨年にも引き続き出張プラネタリウムを実施していただきました。また、ギャラクシティでは生物園のコオロギを使ったプラネタリウム上映「秋のプラ音タリウム」を実施、生物園の広報へと繋げました。

年度末には平成 28 年度にギャラクシティのプラネタリウムにて上映するプログラム「ちよこっとシアター「生物園の生きものたち」の企画・監修・撮影協力を行いました。

ギャラクシティとの連携プログラム一覧

日付	内容	主催(実施場所)	参加者(人)		協力内容
			大人	小人	
7月4日(土)	出張プラネタリウム	足立区生物園	140	134	プラネタリウム上映
7月5日(日)	出張プラネタリウム	足立区生物園	160	155	プラネタリウム上映
8月23日(金)	星の観望会(生物園に泊まろう内)	足立区生物園	0	29	観望会実施
7月23日(土)	妖怪ワークショップ～きみの「あだち妖怪」をつくらう～	ギャラクシティ	各回20名		生体貸出
9月19日～9月23日	秋のプラ音(ネ)タリウム～虫の音night～	ギャラクシティ	各回170名		生体貸出
12月27日(日)	蜜蠟キャンドルを作ろう!	ギャラクシティ	0	38	プログラム実施
12月5日(土)	出張生物園	ギャラクシティ	170	227	プログラム実施

展示協力では「標本で学ぶ!日本の昆虫 世界の昆虫」と「あだちの水辺の生きもの展」を開催し、展示と同時に生物園のパンフレットやセルフガイドの配布を行いました。ギャラクシティでの生きものを使った展示はないため、珍しさから多くの来園者が集まり、生物園へ来園者をつなげることができました。

タイトル	展示場所	開始	終了
標本で学ぶ!日本の昆虫 世界の昆虫	ギャラクシティ地下1階	7月18日	8月31日
足立区の水辺の生きもの	ギャラクシティ2階	2月9日	3月13日

●イベントとの連携

本年度も足立区主催のイベント等さまざまなイベントに協力を行いました。区内の公園や施設で実施されたイベントには出張生物園を行い、生物園の生きものの展示やふれあいからPRへ繋げました。

連携イベント一覧

日付	イベント	主催	開催場所	協力内容
4月4日～5日	千本桜祭り	立派観光交流協会、足立区、東京都建設局、東京都交通局、(公財)東京都公園協会	舎人公園	出張生物園
5月10日(火)	第41回足立子どもまつり	足立子どもまつり実行委員会	元洲江公園	会場提供、告知など
5月24日(火)	地球環境フェアPRイベント	環境政策課	足立区生物園	会場提供
5月30日～31日	地球環境フェア	足立区、足立区環境美化防止区民会議実行委員会	足立区役所本庁舎	出張生物園
6月6日～7日	しょうぶ祭り	足立区観光交流協会・足立区	しょうぶ公園	出張生物園
3月13日(土)	生物園ツアー	越谷市ひまわり児童館	越谷市ひまわり児童館	団体プログラム対応、会場提供など
2月21日(日)	あだちの学びを見に行こう	生涯学習センター	生涯学習センター	団体プログラム対応、会場提供など
7月8日(水)	西新井町会自治会協議会 第一回講演会	西新井区民事務所	西新井区民事務所	講演
11月28日～12月25日	光の祭典	足立区観光交流協会	元洲江公園・足立区生物園	夜間特別開園、ホテル観賞会など
2月28日(日)	梅まつり	足立区公園整備課	大谷田公園	出張生物園

●区内商業との連携

区内の商業施設との連携も行いました。西新井の商業施設 西新井パサージュにて出張生物園を行いました。出張生物園は5月、8月、9月、11月の4回土日に行い、モルモットなどの哺乳類とのふれあいや、生物園の生きものや標本を多数用意しました。生物園のポスター掲示やパンフレットなどの配布を行いました。

VI 広報活動

生物園では、2つの目的を持って広報活動を行っています。1つは、なるべく広く情報を発信していくことで、より多くの方に生物園を知っていただき、新規やしばらくぶりの利用につなげるということ。もう1つは、定期的な情報発信によって、リピーターの再来園につなげるということです。

生物園では、各種メディアへの掲載・放映、ホームページによる情報発信、ポスター・チラシ等による情報発信という、大きく3つの広報活動を行うことで、来園者数の増加を目指しています。

1. メディア対応と掲載・放映の実績

各種メディアは、TVだけをとっても全国放送とローカル放送があるように、その視聴者数や読者数は大小様々です。全国放送や新聞の全国紙へ取り上げられる事は希ですが、生物園の認知度を高めるという点では、どの広報手段よりも最も大きな効果が期待できます。一方、地域センターのミニコミ誌やタウン誌へは比較的取り上げていただきやすく、頻繁な掲載によりリピート利用の増加につながると考えられます。

● 本年度の掲載・放映実績

本年度は、168件のメディア掲載・放映がありました（昨年度比8件増加）。

内訳をみると、新聞、WEB、書籍、その他への掲載・放映が増えた一方で、特にTV放映数が大きく減少いたしました。

今年度は昨年度に比べ、プレスリリースを報道広報関係者の目に留まるよう意識して構成しました。具体的には、掲載する写真の選定に気を配り、写真とイベントタイトルを従来よりも大きく見やすくしました。結果、全体的な掲載・放映実績の増加につながったと考えています。

新聞への掲載は昨年度に比べて10件増加しました。今年度はイベント情報だけでなく、「金魚の大水槽」「ツシマウラボシシジミの域外保全」など、生物園ならではの見どころや取り組みに関して大きく取り上げていただくことができました。

WEBサイトへの掲載は昨年度に比べて5件増えました。スマートフォンの普及に伴って、何時・何処にいても手元のスマートフォンで旬な情報が手軽に入手できるようになりました。情報サイトの数も多く、WEBイベント情報を施設管理者側が任意で登録・公開できるようなお出かけ情報サイトもあります。来年度はそのようなお出かけ情報サイトを活用していくことを検討したいと思います。

TV放映数の減少は、昨年度22件の放映実績があった「ジェイコム足立『デイリー足立』」の放送終了の影響を大きく受けたことによります。

区分別掲載・放映実績

	H27年度		H26年度
	実績	前年比 増減数	
合計	168	8	160
情報誌	65	-4	69
新聞	47	10	37
WEB	19	5	14
TV	17	-14	31
書籍	8	2	6
その他	14	11	3

H27年度 情報誌への情報掲載実績

メディア名	月												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
あだち広報	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
保塚地域学習センター ミニコミ誌	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
竹の塚地域学習センター ミニコミ誌	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
ばど	2	1	.	.	1	1	1	6
まみたん	1	.	1	.	.	1	3
あんふあん	1	1
Hanakoママ	1	1
あだち広報百景	1	.	.	1
メロガイド	1	1
環境政策課発行「夏休みこどもエコプロジェクト」	.	.	1	1
おおやたこども園「夏休みのしおり」	.	.	.	1	1
カワイ体操教室「ゆたかなこども」	1	1
生涯学習センター「ピアノビ」	1	.	.	1
合計	7	5	6	5	5	6	5	5	4	6	5	6	65

H27年度 新聞への情報掲載実績

メディア名	月												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
足立朝日	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
足立よみうり	1	.	1	1	.	.	.	1	1	.	1	.	6
読売新聞 東京版	.	.	1	1	.	.	.	1	.	.	.	1	4
読売新聞 東京版「シティライフ」	1	1	1	1	.	.	1	1	6
読売新聞 江東版	1	1
朝日新聞	.	.	1	1
朝日新聞 竹の塚東「読者の広場」	.	1	1
朝日新聞 東京総局「東京マリオン」	.	.	1	.	.	1	2
毎日新聞	1	1
毎日新聞 東京版	.	1	1	1	.	.	.	3
産経新聞	.	.	.	1	.	.	.	1	2
産経新聞 東京版	.	.	1	1
産経新聞「エスマップ」	.	1	1
産経新聞 サンケイリビング	1	1
東京新聞 したまち版	1	.	.	1	.	1	.	.	3
日本経済新聞「ニュースな科学」	1	1
足立経済新聞	1	.	.	.	1
合計	3	5	6	4	4	2	2	8	4	2	3	4	47

H27年度 WEBへの情報掲載実績

メディア名	月												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
レッツエンジョイ東京	1	1	2
Walkerplus	1	.	.	1	2
足立朝日(WEB)	.	1	1
るるぶ.com	.	1	1
STORY Photography JAPAN	.	1	1
タイムズHP	.	1	1
タイムアウト東京	.	.	1	1
足立よみうり(WEB)	.	.	.	1	1
足立区公式HP	.	.	.	1	1
産経ニュース	1	1
まいぷれ足立	1	1
日本ケーブルテレビ連盟サイト「じもテレ」	1	.	.	.	1
東京新聞 TOKYO Web	1	.	.	1
Travel.jp たびねす	1	.	.	1
日経DUAL	1	.	1
YOMIURI ONLINE	1	1	2
合計	2	4	1	3	0	1	0	1	1	2	2	2	19

H27年度 TVへの情報掲載実績

メディア名	月												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ジェイコム足立「デイリー足立」	4	1	5
NHK総合	.	1	1	.	.	1	.	.	3
NHK教育	.	1	1
ジェイコム	1	1	.	.	1	1	.	.	4
日本テレビ	1	.	1	.	1	.	.	.	3
長崎ケーブルテレビ	1	.	.	.	1
合計	4	3	0	0	2	2	1	0	4	1	0	0	17

H27年度 書籍への情報掲載実績

メディア名	月												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
光文書院「理科テスト」	1	1
月刊コロムブス	1	1
つまき式♪親子で楽しむ動物園ガイド	.	1	1
足立区ウォーカー	.	.	1	1
月間むし	1	1
Hanakoママのお出かけBOOK	1	1
るるぶ東武スカイツリーライン	1	.	.	.	1
家族でお出かけ	1	1
合計	2	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	8

H27年度 その他の情報掲載実績

メディア名	月												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ライオンズ竹の塚 Blossam (マンション) 広報用映像	.	1	1
NHKラジオ	.	.	.	1	1	2
足立の花火パンフレット	.	.	.	1	1
ありのままにいたい(映画)	.	.	.	1
東京トヨペット「さかなクンぬり絵コンテスト！」	.	.	.	1
株式会社エーブレイン「海水魚図鑑」(アプリケーション)	1	1
タウンページ 足立区	1
光の祭典パンフレット	1	1
Cweve 千住	1	.	.	.	1
DUALお出かけサポートメール(メールマガジン)	1	.	1
足立区役所職員採用パンフレット	1	1
花めぐりバス パンフレット	1	1
千本桜祭りパンフレット	1	1
合計	0	1	0	4	1	0	2	1	1	0	1	3	14

● 情報配信

計 18 種類の情報配信を行いました。原則毎月 1 回、その月のイベント情報を配信したほか、愛称募集や大きなイベントについては個別にプレスリリースを配信しました。

配信先は平成 28 年 3 月 31 日現在で 20 件です。有限会社ジュークジョイントと産経新聞エス・マップ企画編成部、東京新聞したまち支局を、プレスリリース不着のため配信先から削除しました。

また、配信したプレスリリースは HP でも公開し、それをきっかけに新規メディアからの取材にもつながりました。

来年度は定期配信先の再検討を行いたいと考えています。今年度一年間定期配信を行ったものの一度も反応が得られなかった配信先については削除し、可能な限り新たな配信先の開拓を行いたいと考えています。

H27年度 情報発信記録		※定期発信先はリスト参照
年度	発信先	備考※情報掲載の有無など
4月21日	プレスリリース(22件)	ホテル見night!
5月8日	定期配信(22件)	6月のイベント情報
	プレスリリース(22件)	ワラビーの愛称募集
6月1日	プレスリリース(22件)	昼のホテル観賞会
	〃	夏休みキャンペーン!
7月3日	定期配信(22件)	8月のイベント情報
8月3日	プレスリリース(21件)	芸術の秋!アートキャンペーン
	定期配信(21件)	9月のイベント情報
	プレスリリース(11件)	ギャラク共催「プラ音タリウム」
8月25日	プレスリリース(10件)	ギャラク共催「プラ音タリウム」
9月2日	定期配信(20件)	10月のイベント情報
10月7日	定期配信(20件)	11月のイベント情報
11月5日	定期配信(20件)	光の祭典関連イベント
12月7日	定期配信(20件)	1月のイベント情報
1月7日	定期配信(20件)	2月のイベント情報
2月8日	定期配信(20件)	3月のイベント情報
2月16日	プレスリリース(13件)	わんフェス初開催
3月9日	定期配信(20件)	4月のイベント情報

H27年度 情報配信先

No.	配信先名
1	ケーブルテレビ足立
2	足立朝日
3	足立よみうり
4	サンケイリビング新聞社 東葛本部 編集部沿線リビング担当
5	朝日新聞
6	朝日新聞 東京総局 とうきょうマリオン担当
7	松戸市立博物館友の会
8	読売新聞 江東支局
9	毎日新聞 とうきょう支局
10	株式会社 ぱど
11	読売新聞 東京本社 シティライフ編集室
12	竹の塚地域学習センター (ヤオキン商事株式会社)
13	毎日新聞社会部 東京支局
14	保塚地域学習センター
15	Dokka!おでかけ探検隊(関東版)
16	株式会社クリエイト 越谷営業所
17	CALANDRIA有限会社
18	モグラ企画
19	東京新聞ショッパー さいたま支社
20	サンケイリビング新聞社 東京本部

2. ホームページによる情報発信

ホームページは、近年スマートフォンやタブレットの普及に伴って利用人口が増加しており、ますます有効な広報手段になってきています。

ホームページは、閲覧者に常に最新の情報を発信することと、閲覧者が知りたい情報へすぐにたどり着けるよう見やすいレイアウトや分かりやすい文章を心がけ、作成を行いました。

● ホームページアクセス数

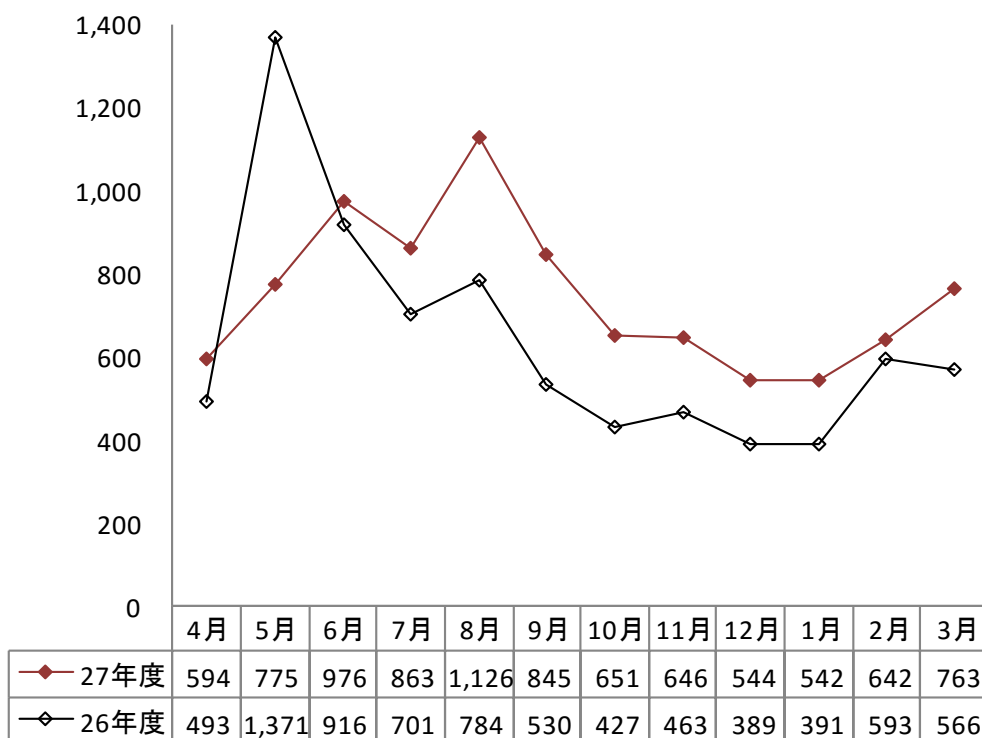
今年度のホームページアクセス総数は、272,106 件でした（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）。

今年度も昨年度と同様にアクセス数の解析には Google アナリティクスを用い、トップページのページビュー数を求めました。ページビュー数では、純粹にトップページが表示されるたびにカウントされます。よって同端末から 2 回訪問した場合、アクセス数は+2 件となります。

今年度の目標である、秋～冬にかけてのアクセス数の落ち込みは解消できませんでした。全体的なアクセス数は昨年度に比べて大幅に伸ばすことができませんでした。一日当たりの平均アクセス数でみると、昨年度実績を下回るのは 5 月のみとなっております。

なお、昨年度 5 月はリフレッシュオープンと有名テレビ番組（フジテレビ「有吉くんの正直さんぽ」）で大きく取り上げられた影響により、アクセス数が非常に多くなっていたため、比較するには適さないデータと言えます。

一日当たりの平均アクセス数(平成27年4月～平成28年3月)



● ホームページ更新内容

本年度は 121 回（昨年実績 106 回）の情報更新を行いました。

6 月からは生物園の Facebook 公式ページ「まーしー園長の生物園日記」の運用を開始し、生きもの情報や、イベントの実施報告などを発信するようにしました。Facebook ページは閲覧者がそのページをフォローすることで、生物園公式ページの更新記事を自分の Facebook ページにて受け取ることができるようになります。注目度は高く、生物園公式ページのフォロワー数は 300 人を超え、日々伸び続けています。

また、スマートフォンの利用者が年々増加していることを考え、生物園公式ホームページは、今後全面的にレスポンス WEB 化を検討しています。レスポンス WEB は、サイトにアクセスすると、パソコンではパソコンに適したデザイン、スマートフォンではスマートフォンに適したデザインが表示されます。2 月に公開した「わんフェス」の特設サイトは、試験的に「レスポンス WEB デザイン」にて作成しました。

H27年度 足立区生物園HP更新行程表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1-1 アイキャッチ画像			20	21	6		23		26		2	17,24	期間展示の入れ替えに応じる
1-2 みみより情報	4,18,29	8,12,20,29		8									月1回(最低)
1-2 Facebook			17,18,19,21,23,24,28,30	2,4,9,11,18,19,28,31	4,6,14,16,17,22,31		4,9,14,16,31	4,6,14,18	4,5,8,17,19,20,24,27	2,8,22,25	15,24,26	3,5,19	月1回(最低)
1-3 最新情報												1,24,26,28,30,31	随時
1-4 生物園からのお知らせ		8,20	17,29		17	7	17,18		24	25,26,29			必要に応じる
2-1 利用案内					6,30								年1回内容確認 変更あり次第随時更新
3-1 生物園の飼育の基本方針					31								年1回内容確認
3-2 プライバシーポリシー					31								年1回内容確認
2-2 しせつ案内					31								年1回内容確認 変更あり次第随時更新
2-3 プログラム案内													期間展示の入れ替えに応じる
3-3 特設展示情報			12		6		4		4	27			月1回~隔月1回
3-4 プログラム情報		8,8,12	8,9		14					14	8	13	月1回
3-5 プログラムカレンダー		8	18	4	6	14	4	19	4	10	14	8	月1回
SP 特設ページ	4,23		3,17				19		10	14	15,27		ホテル観賞イベント開催に応じる その他必要に応じて更新
2-4 生物園の生きもの	17		18	18	20	15	16	16	24	29	15	19	月1回生きもの追加 年1回内容確認
2-5 飼育日記													年1回内容確認
3-6 モンロチョウ					31								年1回内容確認
3-7 スズムシ					31								年1回内容確認
3-8 セイヨウミツバチ					31								年1回内容確認
2-6 Q&A													年1回内容確認
3-9 みなさまから生物園への声	18	10	30	19	22	21	31	30	24	29	29	31	月1回
3-10 昆虫編					31								年1回内容確認
3-11 魚編					31								年1回内容確認
3-12 甲殻類編					31								年1回内容確認
2-7 解説員のひとりごと	17		18	18	20	15	16	16	24	29	15	19	月1回
2-8 ニュースレターダウンロード	17	26	15	8	20	15	20	16	24	26	15	18	月1回
2-9 リンク					31							31	年1回内容確認
2-10 プレスリリース	22	8		30				12			17		ホテル観賞イベント開催に応じる その他必要に応じて更新

※セル内の数字は実施日。灰色に塗られているセルは更新予定月。

3. ポスター・チラシ等による情報発信

(1) ポスター

昨年度に引き続き、期間展示情報、プログラム情報、イベント情報などをポスターにして掲示しました。掲示箇所は生物園入口・元洲江公園入口掲示板（各 2 枚）、園内（基本 1 枚、必要に応じ 2 枚）、生物園建物壁面（2 枚）、竹ノ塚駅前看板（2 枚）、竹ノ塚駅通路（新規、1~2 枚）、アトリウム（2 枚）です。アトリウムのポスター貼り替えは、ほとんどを足立区の担当係へお願いしている為、下記実績表のアトリウム部分の掲示期間は目安となっています。他の施設のポスターが掲示される時などは、一時掲示を中断しています。竹ノ塚駅通路へは 9 月から新規で掲示を行っています。こちらは竹ノ塚駅長のご厚意により、掲示場所に空きがある場合に生物園のポスターを掲示していただけることになっています。最寄駅且つ非常に人目を引く場所ですので、大きな広報効果が期待されます。12 月には「生物園 night コンサート」のポスターを掲示して頂きましたが、当日は開場

後すぐに満席となり、立ち見のお客様も多数のにぎわいぶりでした。

その他、今年度初めての取り組みとしては、秋のアートコンテスト開催時に、近隣の保育園・幼稚園計5園へポスターとコンテストの応募要項を配り、園内に掲示して頂いたことがあげられます。

掲示場所	生物園入口・元洲江公園入口		園内		建物屋外壁面		竹ノ塚駅前看板		竹ノ塚駅通路		アトリウム	
	1 80×80(cm)	2 80×80(cm)	必要に応じて1~2枚掲示 適当		1 B2	2 B2	53×53(cm)				1 B2	2 B2
4 上 中 下	ふれあい展	4月のプログラム	4月のプログラム		ふれあい展	-	ふれあい展	生物園PRポスター	生物園PRポスター	生物園PRポスター	ふれあい展	4月のプログラム
5 上 中 下		5月のプログラム	5月のプログラム			金魚すくい						5月のプログラム
6 上 中 下	6月のプログラム	ホテル見night!	ホテル見night!	6月のプログラム	水辺の生きもの展	ホテル見night!	ホテル見night!	生物園PRポスター	生物園PRポスター	生物園PRポスター	ホテル見night!	6月のプログラム 情報
7 上 中 下		星のホテル観賞会	星のホテル観賞会			星のホテル観賞会						水辺の生きもの展
8 上 中 下	8月のプログラム	夏の昆虫大集合展	7月のプログラム		夏の昆虫大集合展	海の生きものタッチプール	夏の昆虫大集合展	生物園PRポスター	生物園PRポスター	生物園PRポスター	夏の昆虫大集合展	7月のプログラム
9 上 中 下			8月のプログラム	8月のプログラム		-						8月のプログラム
10 上 中 下	アートな生きもの展	10月のプログラム	10月のプログラム		アートな生きもの展	カマキリ展	アートな生きもの展	生物園PRポスター	生物園PRポスター	生物園PRポスター	アートな生きもの展	10月のプログラム
11 上 中 下		11月のプログラム	11月のプログラム			ゴキブリ展						11月のプログラム
12 上 中 下	クリスマス展	12月のプログラム	12月のプログラム	生物園nightコンサート	クリスマス展	クリスマス展	クリスマス展	-	生物園nightコンサート	クリスマス展	12月のプログラム	
1 上 中 下	お正月展 移動動物園&ボニーの乗馬体験	1月のプログラム	1月のプログラム	移動動物園&ボニーの乗馬体験	お正月展	お正月展	お正月展	生物園PRポスター	生物園PRポスター	生物園PRポスター	お正月展	1月のプログラム
2 上 中 下		2月のプログラム	2月のプログラム	家族でつ教室	奇想天員展	奇々怪々な蟲展	奇想天員展					2月のプログラム
3 上 中 下	奇想天員展	3月のプログラム	3月のプログラム		奇想天員展	奇想天員展	奇想天員展	奇想天員展	奇想天員展	奇想天員展	奇想天員展	3月のプログラム

● アトリウム掲示板のデザイン変更

区庁舎へ訪れた人々を飽きさせないように、季節に応じてアトリウムの掲示板のデザインを、年9回変更しました。

(2) ニュースレター

ニュースレターはイベント情報だけでなく、掲載する内容は生きものへの興味・関心を引き出し、手に取った人がじっくり読みたくなるようなものになるよう心がけました。

今年度は毎月1回発行しました。7月(8月号)までは昨年度と同様に5,500部発行していましたが、8月以降9,000部に増刷し、全校生徒配布校をこれまでの近隣3校(半径1km以内)から範囲を半径1.5km圏内の小学校へ拡大しました。配布校は計10校(浏江第一小、浏江小、保木間小、東栗原小、加平小、中島根小、平野小、花保小、花畑小、竹の塚小)です(桜花小・花畑第一小・花畑西小については桑袋ビオトープ公園がすでに配布している為対象外としています)。

受付での配布数も1,000部以上増やしましたが、今年度はどの月も残部のある事がなく期間内に配布することができました。

H27年度 ニュースレター配布先とその部数

配布先名	部数	
	H28年度9月号～	H26年4月～H27年8月号
生物園受付	1,807	757
浏江小学校	557	557
浏江第一小学校	700	700
保木間小学校	463	463
東栗原小学校	486	
加平小学校	423	
中島根小学校	540	
花保小学校	572	
竹の塚小学校	407	
公園管理課 施設活用係(区内外施設ラック)	2,820	2,820
報道広報課 広報係(駅ラック)	185	185
保管・予備用	40	18
合計	9,000	5,500

(3) チラシ

本年度は12種類のチラシを発行し配布しました。昨年度は生物園受付での配布が主でしたが、区内の他施設でも積極的に配布していただきました。また、本年度は新たな取り組みとして、東武動物公園のチラシへ部分広告を掲載しました。

チラシの発行については、今後より力を入れていきたいと考えています。

H27年度 チラシ発行実績

発行日	種類	サイズ	部数	備考
4月28日	ホテル見night!	B6	1,000	
5月19日	ホテル見night!	A5	1,000	
7月8日	昆虫標本教室&解剖! サメの研究会	A5	200	
8月10日	海の生きものタッチプール	A5	200	ギャラクシティにて配布
11月6日	蜜蜂キャンドルを作ろう!	A5	100	
12月20日	生物園nightコンサート	A5	120	
1月3日	こどもクイズ王選手権	A5	100	
1月3日	コオロギ相撲選手権	A5	100	
2月20日	家族でつり教室	A4	1,000	生物園で700、荒川桑袋各100、足立区内上州屋2店舗各100部
3月9日	わんフェス	A4	1,000	2000発注し、半分を事前配布、残りを当日配布
3月中旬	東武動物公園チラシに部分掲載	A4		東武線本線・東上線各駅に100~200枚設置、近隣幼稚園・保育園へ約3万枚DM送付
3月18日	東武動物公園新聞折り込みチラシに部分掲載	B4		東武動物公園から約20km圏内に10万部配布

(4) 中吊り広告

27年度は、東武線車両内の中吊り広告を2回掲出しました。また、新たな取り組みとして、東武バスセントラルの4つの路線へ額面ポスターを掲出しました。

2月に掲出したわんフェスの中吊り広告および額面ポスターは非常に大きな反響があり、掲出当日からわんフェスに関する問い合わせが増加しました。また、生物園HPへのアクセス数増加の一要因になったと考えております。

H27年度 東武線中吊り・東武バス額面ポスター掲出実績

種類	掲出時期	内容	掲出区間
東武線中吊り	2/18~3/21	わんフェス	スカイツリーライン
	3月	東武動物公園のポスターに部分掲載	東武線全線
東武バス額面ポスター	2/15~3/15	わんフェス	東武バスセントラルの4路線 (足立営業所・西新井営業所・葛飾営業所・花畑営業所)

(5) デジタルサイネージ

昨年度に引き続き、北千住駅前のデジタルサイネージにて、生物園のプログラム・展示情報を放映していただいています。

今年度は目玉となるイベントの放映期間を昨年度よりも長くし、より大きな効果が得られるようにしました。

しかし、昨年度と同様に空白期間があったことが反省点となっております。来年度は空白期間がなるべく短くなるよう努めたいと思います。

H27年度 北千住駅デジタルサイネージ放映実績

放映		内容
開始	終了	
4月1日	4月24日	ふれあい展
4月24日	5月6日	金魚すくい
5月24日	6月21日	ホテル見night!
6月22日	7月5日	昼のホテル観賞会
7月5日	7月26日	昆虫を育てよう
7月26日	8月16日	金魚すくい
9月20日	10月15日	アートな生きもの展
10月15日	11月1日	金魚すくい
11月2日	12月25日	夜間特別開園in光の祭典
11月2日	12月25日	冬のホテル観賞会&ナイトツアー「熱帯の世界」
3月6日	3月21日	わんフェス

第二章 生物飼育業務

I 生物飼育業務

1. 平成27年度の飼育状況

(1) 昆虫類

今年度、足立区生物園の昆虫類の飼育は、チョウ類、水生昆虫類、陸生昆虫類の3つの区分で管理を行いました。また、チョウ類の管理は分類学上ではチョウ目のみとなるため、科（および亜科）による区分で飼育管理を行いました。なお、分類学上は昆虫ではないが、餌用生体として飼育管理した種（カタツムリなど）については、餌として使用する区分ごとに飼育管理を行いました。

各区分の年間飼育種数と頭数はチョウ類59種8227頭、水生昆虫類29種604匹（ホタル類および水生巻貝類をのぞく）、バッタ目29種487匹（エサ用コオロギ類2種をのぞく）、陸生甲虫類43種812匹（エサ用ミルワーム類2種を除く）でした。

(2) 両生爬虫類

今年度、足立区生物園の両生爬虫類の飼育では、年間75種358匹（両生類：31種238匹、爬虫類：45種120匹）の飼育管理を行いました。

(3) 水族

水族の飼育管理を行う種は分類学上において多岐に渡るため、綱レベルでの区分とし飼育管理を行いました。水族の年間飼育種数は225種3329匹（うち魚類は軟骨魚類綱：3種4匹、条鰭綱：91種2258匹）でした。

平成27年度 水族飼育種数リスト

綱	目数	種数	頭数
1 普通海綿綱	1	1	5
2 花虫綱	3	10	37
3 多板綱	1	3	18
4 腹足綱	6	44	271
5 二枚貝綱	1	4	60
6 頭足綱	1	1	30
7 多毛綱	5	5	16
8 ホシムシ綱	1	1	1
9 カブトガニ綱	1	1	4
10 軟甲綱	3	29	282
11 ウミユリ綱	1	3	9
12 ヒトデ綱	4	8	152
13 クモヒトデ綱	1	7	84
14 ウニ綱	1	4	42
15 ナマコ綱	3	9	53
16 ホヤ綱	1	1	3
17 軟骨魚類綱	3	3	4
18 条鰭綱	13	91	2258
合計	50	225	3329

(4) 鳥類哺乳類

今年度、足立区生物園の鳥類哺乳類の飼育では、年間27種157匹（鳥類：8種32羽、哺乳類：19種125頭）の飼育管理を行いました。

2. 各飼育区分の飼育種数および頭数のリスト

(1) チョウ類の年間飼育種数および頭数のリスト

平成27年度 足立区生物園におけるチョウ類の年間飼育実績

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考		
アゲハチョウ科	ジャコウアゲハ	143	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	ベニモンアゲハ	198	有	大温室	屋外採集個体を含む		
	キアゲハ	85	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	シロオビアゲハ	634	有	大温室	屋外採集個体を含む		
	カラスアゲハ	26	有	大温室	屋外採集個体を含む		
	ナミアゲハ	782	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	ナガサキアゲハ	792	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	クロアゲハ	772	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	モンキアゲハ	15	有	大温室	屋外採集個体を含む		
	ミコトアゲハ	3	有	大温室	屋外採集個体のみ		
	アオスジアゲハ	12	有	大温室	屋外採集個体を含む		
タテハチョウ科	マダラチョウ亜科	リュウキュウアサギマダラ	635	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		アサギマダラ	247	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		オオゴマダラ	458	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		カバマダラ	23	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		スジグロカバマダラ	104	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		ツمامラサキマダラ	49	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	タテハチョウ亜科	カバタテハ	111	有	大温室	飼育個体のみ	
		リュウキュウミスジ	3	有	大温室	屋外採集個体のみ	
		ツマグロヒョウモン	591	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
		ミドリヒョウモン	6	有	大温室	屋外採集個体のみ	
		ウラギンヒョウモン	6	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
		インガケチョウ	169	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		アカタテハ	19	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
		ヒメアカタテハ	14	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		ルリタテハ	3	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		コムスジ	2	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		オオムラサキ	33	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
		ゴマダラチョウ	3	有	大温室・昆虫ドーム	飼育個体のみ	
		タテハモドキ	267	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		アオタテハモドキ	30	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		リュウキュウムラサキ	8	有	大温室	屋外採集個体を含む	
		ノハチョウ	2	有	大温室	飼育個体のみ	
		テングチョウ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
		コムラサキ	3	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
		ギタテハ	9	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
		ジャノメチョウ亜科	ジャノメチョウ	4	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
			リュウキュウヒメジャノメ	36	有	大温室	屋外採集個体を含む
	サトキマダラヒカゲ		20	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	ウスイロコマチョウ		101	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	マサキウラナミジャノメ	5	有	大温室	屋外採集個体のみ		
	シロチョウ科	クロテンシロチョウ	274	有	大温室	飼育個体のみ	
		ツマベニチョウ	230	有	大温室	飼育個体のみ	
		モンシロチョウ	345	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
スジグロシロチョウ		2	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ		
モンキチョウ		42	有	大温室	屋外採集個体を含む		
ナミエシロチョウ		10	有	大温室	屋外採集個体のみ		
キタキチョウ		559	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
ツマキチョウ	2	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ			
シジミチョウ科	ヤマトシジミ	7	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	ベニシジミ	64	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	ムラサキシジミ	2	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ		
	ムラサキツバメ	44	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	ツバメシジミ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ		
	ルリシジミ	1	有	大温室	飼育個体のみ		
	ウラナミシジミ	7	有	昆虫ドーム	屋外採集個体を含む		
	ヒメシルビアシジミ	3	無	大温室	屋外採集個体のみ		
	ツシムウラボシシジミ	205	有	大温室	飼育個体のみ		
セセリチョウ科	イチモンジセセリ	5	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ		
総種数	59						
総個体数	8227						

(2) 水生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト

平成27年度 足立区生物園における水生昆虫類の年間飼育実績

分類	種名		個体数	展示歴	展示名	備考	
カメムシ目	タガメ		54	有	常設展 虫の親子関係展 ギャラクシティ展示		
	コオイムシ		66	有	常設展 虫の親子関係展 クリスマス展		
	オオコオイムシ		2				
	ナベフタムシ		11				
	ミズカマキリ		8				
	タイコウチ		3	有	常設展		
	マツモムシ		54	有	常設展 夏の昆虫展		
ナミアメンボ		18	有	昆虫ドーム 夏の昆虫展			
コウチュウ目	ゲンジボタル	幼虫	20121	有	常設展	平成27年度孵化幼虫数	
		成虫	182	有	ホタル見night! 常設展		
	ヘイケボタル	幼虫	8441	有	常設展	平成27年度夏孵化幼虫数	
			1528	有	常設展	平成27年度冬孵化幼虫数	
			153	有	常設展	平成27年度夏羽化成虫数	
		成虫	117	有	ホタルの昼間観賞会 ホタルの昼間観賞会 冬のホタル観賞会	平成27年度冬羽化成虫数	
	ミズスマシ		1				
	オオミズスマシ		105	有	奇々怪々な蟲展 水辺の生きもの展		
	クロゲンゴロウ		6	有	常設展		
	ゲンゴロウ		16	有	常設展		
	コガタノゲンゴロウ		6	有	常設展		
	ヒメゲンゴロウ		3				
	シマゲンゴロウ		5	有	常設展		
	コシマゲンゴロウ		3				
	コガムシ		6				
ガムシ		27	有	常設展			
マルガムシ		5					
トンボ目	コヤマトンボ		幼虫	2			
	コオニヤンマ		幼虫	2			
	オニヤンマ		幼虫	2			
	ギンヤンマ		幼虫	5			
	クロスジギンヤンマ		幼虫	42	有	常設展 ギャラクシティ展示 水辺の生きもの展	
シオカラトンボ		幼虫	25				
ヘビトンボ目	ヘビトンボ		幼虫	16	有	奇々怪々な蟲展 水辺の生きもの展	
トビケラ目	エグリトビケラ		幼虫	61	有	水辺の生きもの展	
	ニンギョウトビケラ		幼虫	28	有	生きものアート展	
	ヒゲナガカワトビケラ		幼虫	22	有	水辺の生きもの展	
吸腔目	カワニナ科	カワニナ		1000	有	ホタル見night! 奇想天貝展	水生ホタル類幼虫の餌として
原始紐舌目	タニシ科	タニシ		100	有	ホタル見night!	水生ホタル類幼虫の餌として
有肺目	モノアラガイ				100		水生ホタル類幼虫の餌として
	ヒメモノアラガイ				100		水生ホタル類幼虫の餌として
	サカマキガイ				100		水生ホタル類幼虫の餌として
総種数					36		
総個体数					32546		

(3) 陸生昆虫類の年間飼育種数および頭数のリスト

平成27年度 足立区生物園における陸生昆虫類の年間飼育実績

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
トビムシ目	トビムシの仲間	1000			
ゴキブリ目	ウルシゴキブリ	200	有	ゴキブリ展	
	クロゴキブリ	200	有	ゴキブリ展 虫の親子関係展	
	コウモンゴキブリ	200			
	トビイロゴキブリ	1			
	ヤエヤママダラゴキブリ	20	有	八重山のいきもの展 ゴキブリ展	
	コマダラゴキブリ	3			
	ホタルゴキブリ	130			
	チャバネゴキブリ	100	有	ゴキブリ展	
	キスジワモンゴキブリ	15			
	レッドローチ	100			
	グリーンバナナゴキブリ	30	有	ゴキブリ展	
	グロウスポットローチ	50	有	ハロウィン展	
	オガサワラゴキブリ	1000	有	ゴキブリ展	
	ヤエヤマオオゴキブリ	130	有	ゴキブリ展 八重山のいきもの展	
	サツマゴキブリ	20	有	ゴキブリ展	
	マルゴキブリ	50			
	ヒメマルゴキブリ	150	有	ゴキブリ展	
	オブロンゴナータマダガスカルゴキブリ	150	有	春のふれあい展 ゴキブリ展	
	インシグニスマダガスカルゴキブリ	70	有	ゴキブリ展	
	ヤヴァニカマダガスカルゴキブリ	150	有	ゴキブリ展 ハロウィン展	
	ヴァンウェレベクマダガスカルゴキブリ	90	有	ゴキブリ展	
	ドミノゴキブリ	9	有	ゴキブリ展	
タイワンクテキゴキブリ	2				
マンガタゴキブリの一種	100	有	ハロウィン展		
アルゼンチンモリゴキブリ	200				
シロアリ目	ヤマトシロアリ	50	有	親子関係展	
カマキリ目	オオカマキリ	100	有	足立の生きもの観察室 カマキリ展 虫の親子関係展 夏の昆虫大集合展	
	チョウセンカマキリ	50	有	カマキリ展	
	ウスバカマキリ	6	有	カマキリ展	
	ハラビロカマキリ	100	有	足立の生きもの観察室 カマキリ展 夏の昆虫大集合展 お正月展	
	コカマキリ	4	有	カマキリ展	
	スジイロカマキリ	2			
	ヒナカマキリ	6	有	カマキリ展	
	ヒメカマキリ	1			
	ナンヨウカマキリ	9			
	ハナカマキリ	1			
	トガリメニシキカマキリ	6	有	カマキリ展	
	メダマカレハカマキリ	1			
	ヒシムネカレハカマキリ	1			
	ヒゲジロハサミムシ	1			
ハサミムシ目	ハマベハサミムシ	150	有	虫の親子関係展	
ナナフシ目	オキナワナナフシ	200	有	大温室前室 八重山のいきもの展 虫の親子関係展 アートな生きもの展	
	タイワントビナナフシ	100	有	石垣島の昆虫たち展	
	コバナナフシ	80	有	奇々怪々な蟲展	
	ツダナナフシ	50	有	八重山のいきもの展 クリスマス展	
ガロアムシ目	ガロアムシ	3			
	ダイトウクダマキモドキ	60	有	八重山のいきもの展	
	エゾツユムシ	1			
	ヤエヤマヘリグロツユムシ	4			
	コバナネコロギス	1			
	ヤブキリ	15	有	夏の昆虫大集合展	
	キリギリス	15	有	夏の昆虫大集合展 休憩コーナー	
	クビキリギス	2			
	ヒメギス	1	有	夏の昆虫大集合展	
	ハタケノウマオイ	1			
	ウスイロササキリ	5	有	昆虫ドーム	
	タイワンクツワムシ	50	有	石垣島の昆虫たち展 虫の親子関係展 アートな生きもの展	
	カンタン	5	有	昆虫ドーム	
	マツムシ	10			
	スズムシ	30			
	マダラコオロギ	6			

バッタ目	ヤエヤマクチキコオロギ	35	有	石垣島の生きものたち展		
	フタホシコオロギ	1000				
	ヨーロッパイエコオロギ	1500			毎週購入	
	エンマコオロギ	50	有	昆虫ドーム		
	ツツレサセコオロギ	5				
	ケラ	1				
	ツチイナゴ	5	有	夏の昆虫大集合展		
	タイワンコバネイナゴ	1				
	イナゴモドキ	5	有	昆虫ドーム		
	ショウリョウバッタ	10	有	夏の昆虫大集合展		
	トノサマバッタ	4	有	昆虫ドーム		
	クルマバッタ	2	有	休憩コーナー 夏の昆虫大集合展		
	オンブバッタ	5	有	昆虫ドーム 休憩コーナー		
	オキナワモリバッタ	9				
	イシガキモリバッタ	9				
	イリオモテモリバッタ	140	有	大温室前室 八重山のいきもの展 クリスマス展		
カメムシ目	シロモンオオサシガメ	50	有	奇々怪々な虫展		
	ナナホシキンカメムシ	3				
	ミヤコキンカメムシ	1				
	アシブトメミズムシ	20	有	八重山のいきもの展		
コウチュウ目	デンリョウオオサムシ	2				
	マイマイカブリ	1				
	ハンミョウ	15	有	アートな生きもの展		
	オオシママドボタル	100	有	八重山のいきもの展 奇々怪々な虫展		
	オオセンテコガネ	10	有	親子関係展		
	カブトムシ	250	有	カブクワ展 足立の生きもの観察室 夏の昆虫大集合展		
	アトラスオオカブト	3	有	カブクワ展		
	コーカサスオオカブト	19				
	アクティオンゾウカブト	2				
	マヤシロカブト	1	有	カブクワ展		
	ヘラクレスオオカブト	30	有	カブクワ展 春のふれあい展 クリスマス展		
	マレーテナゴコガネ	31				
	ヒメテナゴコガネ	1				
	バリーテナゴコガネ	1				
	ミヤマクワガタ	17	有	カブクワ展		
	コクワガタ	2				
	スジクワガタ	1	有	カブクワ展		
	オオクワガタ	37	有	カブクワ展		
	チビクワガタ	100	有	虫の親子関係展 カブクワ展		
	サキシマヒラタクワガタ	14	有	石垣島の昆虫たち展		
	ダイオウヒラタクワガタ	2	有	カブクワ展		
	パラワンオオヒラタ	3				
	ニジイロクワガタ	4	有	カブクワ展 アートな生きもの展		
	ババアキンイロクワガタ	1				
	セアカフタマタクワガタ	1				
	ノコギリクワガタ	12	有	カブクワ展 夏の昆虫大集合展		
	ハチジョウノコギリクワガタ	3				
	ギラファノコギリクワガタ	11			卵30	
	ゼブラノコギリクワガタ	1				
	モーニッケノコギリクワガタ	2				
	メリーメンガタクワガタ	2	有	カブクワ展		
	メタリフェルホソアカクワガタ	2	有	カブクワ展		
	クワカミキリ	1	有	夏の昆虫大集合展		
	シロテンハナムグリ	15	有	夏の昆虫大集合展		
	アオドウガネ	10				
	アオカナブン	2	有	夏の昆虫大集合展		
	クロカナブン	2	有	夏の昆虫大集合展		
	オオヒラタシテムシ	10	有	夏の昆虫大集合展		
	ヒメカツオブシムシ	20				
	キマワリ	15				
	チャイロコメノゴミムシダマシ	1000				
	ツヤケシオオゴミムシダマシ	44				
	イタドリハムシ	10	有	夏の昆虫大集合展		
	オオゾウムシ	6				
	クロカタゾウムシ	40	有	大温室前室 春のふれあい展 骨展 お正月展 八重山のいきもの展 奇々怪々な虫展		
	ハエ目	ショウジョウバエ	1000			

ハチ目	クロヤマアリ	20	有	虫の親子関係展	
	クロオオアリ	13	有	足立の生きもの観察室	
	ムネアカオオアリ	2			
	ウメマツオオアリ	25			
	イエヒメアリ	100			
	アワテコヌカアリ	60			
	オオシワアリ	30			
	キアシナガバチ	15	有	夏の昆虫大集合展 アートな生きもの展	
	フタモンアシナガバチ	15	有	虫の親子関係展 足立の生きもの観察室	
	セイヨウミツバチ	10000	有	バタフライガーデン	
サソリ目	ヤエヤマサソリ	1	有	八重山のいきもの展	
	ダイオウサソリ	17	有	虫の親子関係展 奇々怪々な蟲展	
サソリモドキ目	アマミサソリモドキ	1			
	タイワンサソリモドキ	5	有	石垣島の昆虫たち展 奇々怪々な蟲展	
フトマルヤスデ目	ヤエヤママルヤスデ	18	有	八重山のいきもの展	
ヤスデ綱	ヤスデの一種	4	有	奇々怪々な蟲展	
ゲジ目	オオゲジ	2			
オオムカデ目	トビズムカデ	1	有	奇々怪々な蟲展	
クモ目	メキシカン・ピンク(タランチュラ)	2	有	奇々怪々な蟲展	
	アカブルコ・レッドニー(タランチュラ)	2	有	奇々怪々な虫展 クリスマス展	
	タランチュラの一種	2	有	ハロウィン展	
	オニグモ	1	有	アートな生きもの展	
ウデムシ目	ウデムシ	1			
ワラジムシ目	オカダンゴムシ	20	有	春のふれあい展 休憩コーナー	
	ハマダンゴムシ	20			
	ワラジムシ	100			
有肺目	カタツムリの仲間	200	有	奇想天貝 休憩コーナー	
	アシヒダナメクジ	5	有	奇想天貝	
総種数	156				
総個体数	21690				

(4) 両生爬虫類の年間飼育種数および頭数のリスト

平成27年度 足立区生物園における両生爬虫類の年間飼育実績

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
無尾目	モリアオガエル	4	有	両棲類展	板橋より受入(3匹)	
	トウキョウダルマガエル	6	有	両棲類展		
	トノサマガエル	1				
	アマガエル	15	有	両棲類展 常設展 水辺展		
	ツチガエル	2				
	ヒキガエル	6	有	ふれあい お正月展		
	アジアウキガエル	50				
	アフリカツメガエル	60	有	常設展		
	マルメダヒオカガエル	2	有	常設展		
	イエアメガエル	1	有	常設展		
	マダラヤドクガエル	10	有	常設展		
	キオビヤドクガエル	1	有	常設展		
	クランウェルガエル	1	有	常設展		
	ベルツノガエル	1	有	常設展		
	ミツツノコノハガエル	1				
	リュウキュウカジガエル	2				
	サキシマヌマガエル	2				
	ハナサキガエル	1				
	ヒメアマガエル	4	有	両棲類展		
	カジガエル	1				
ニホンアカガエル	6	有	両棲類展			
ヤマアカガエル	10	有	両棲類展			
有尾目	アカハライモリ	15	有	両棲類展 ハロウィン展 ふれあい	板橋より受入(2匹)	
	メキシコサラマンダー	白 4 黒 2	有 有	X'mas展 常設展 常設展		
	シリケンイモリ	2				
	オオサンショウウオ	1				
	ハコネサンショウウオ	12	有	両棲類展		
	トウキョウサンショウウオ	3				
	トウホクサンショウウオ	5				
	クロサンショウウオ	6	有	両棲類展		
	タイガーサラマンダー	1	有	常設展		
	キバラガメ	1				
カメ目	クサガメ	成体 2 幼体 9	有 有	ふれあい 水辺展 母の日展		
	ワニガメ	1				
	スッポンモドキ	1	有	常設展		
	ヤエヤマシガメ	2	有	お正月展		
	チリメンナガクビガメ	1	有	常設展		
	マタマタ	1	有	常設展		
	カロリナハコガメ	2	有	常設展		
	インドホシガメ	5	有	常設展		
	ヒョウモンクガメ	1	有	常設展		
	ケヅメリクガメ	3	有	常設展		
	ロシアクガメ	1				
	アカアシガメ	4	有	出張生物園	わんぱーこうちより譲渡(4匹)	
	バンケーキクガメ	2	有	常設展	わんぱーこうちより譲渡(2匹)	
	ウンキョウ	2				
	ニホンイシガメ	4	有	常設展	板橋より受入(2匹)、生息域外 保全個体(2匹)	
	ニューギニアカブトガメ	1				
	ニシキマゲクビガメ	1	有	常設展		
トカゲ亜目	フトアゴヒゲトカゲ	1	有	常設展		
	トッケイヤモリ	1	有	常設展		
	ヒョウモントカゲモドキ	7	有	常設展 ふれあい		
	オオアオジトカゲ	1	有	常設展		
	インドシナウォータードラゴン	2	有	常設展		
	ミナミヤモリ	2				
	ホオグロヤモリ	5				
	インガキトカゲ	1				
	ニホンヤモリ	15	有	アート展		
	キノボリトカゲ	6				
	ニホンカナヘビ	5				
	ヒガシニホントカゲ	2				
	ニホントカゲ種群の一種(未同定)	1				
	オカダトカゲ	1				
	有鱗目	ビルマニシキヘビ	2	有	常設展	
		ミドリニシキヘビ	1	有	常設展	
		ボアコンストリクター	3	有	常設展	
ヒバカリ		2				
シマヘビ		5	有	足立の自然 プログラム		

ヘビ目	ジャングルカーペットパイソン	1	有	ふれあい	
	ボールパイソン	2	有	ふれあい	
	ペーレンニシキヘビ	2	有	常設展	
	カリフォルニアキングスネーク	1	有	お正月展	
	カムリヘビ	1	有	常設展	
	ミルクヘビ	1	有	Xmas展 ハロウィン展	
	アオダイショウ	4	有	プログラム 常設展	
	ナンダ	1		お正月展	
総種数	76				
総個体数	358				

(5) 水族の年間飼育種数および頭数のリスト

・ 普通海綿綱

平成27年度 足立区生物園における普通海面綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
磯海綿目	クロイソカイメン	5	有	タッチプール	
総種数	1				
総個体数	5				

・ 花虫綱

平成27年度 足立区生物園における花虫綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
イシサンゴ目	ウスコモンサンゴ	1	有	常設展	
	コエダナガレハナサンゴ	1	有	常設展	
	ナガレハナサンゴ	3	有	常設展	
	ハナガタサンゴ	1	有	常設展	
イソギンチャク目	ウメボシイソギンチャク	15	有	タッチプール	
	ミドリイソギンチャク	5	有	タッチプール	
	キツカイソギンチャク	1	有	タッチプール	
	シマキツカイソギンチャク	1	有	タッチプール	
	ベニヒモイソギンチャク	3	有	タッチプール	
ホネナシサンゴ目	デイスクローラル	6	有	常設展	
総種数	10				
総個体数	37				

・ 多板綱

平成27年度 足立区生物園における多板綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
クサズリガイ目	ウスヒザラガイ	10	有	タッチプール	
	ケムシヒザラガイ	3	有	タッチプール	
	ヒメケハダヒザラガイ	5	有	タッチプール	
総種数	3				
総個体数	18				

・ 腹足綱

平成27年度 足立区生物園における腹足綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
カサガイ目	クサイロアオガイ	2	有	タッチプール	
古腹足目	インダタミ	15	有	タッチプール	
	エビスガイ	7	有	タッチプール	
	オトメガサ	3	有	タッチプール	
	クボガイ	7	有	タッチプール	
	クモノコガイ	5	有	タッチプール	
	クロアワビ	2	有	奇想天貝展	
	ウラウズガイ	3	有	奇想天貝展	
	サザエ	3	有	タッチプール、奇想天貝展	
	スガイ	15	有	タッチプール	
	スカシガイ	8	有	タッチプール	
	コシタカガンガラ	5	有	タッチプール	
	パティラ	10	有	タッチプール、奇想天貝展	

アマオブネガイ目	アマオブネガイ	5	有	タッチプール	
タマキビ型新生腹足目	タマキビ	20	有	奇想天貝展	
後鰓目	ミスガイ	2	有	タッチプール	
	ハダカカメガイ	37	有	奇想天貝展	
	アマクサアメフラシ	1	有	タッチプール	
	クロヘリアメフラシ	2	有	タッチプール	
	アオウミウシ	10	有	タッチプール	
	ウスイロウミウシ	2	有	タッチプール	
	オトメウミウシ	2	有	タッチプール	
	クモガタウミウシ	3	有	タッチプール	
	クロシタナシウミウシ	10	有	タッチプール	
	コモンウミウシ	1	有	タッチプール	
	サメジマオトメウミウシ	1	有	タッチプール	
	シラヒメウミウシ	1	有	タッチプール	
	シロウミウシ	8	有	タッチプール	
	ネズミウミウシ	3	有	タッチプール	
	ハクセンミノウミウシ	1	有	タッチプール	
	サガミノウミウシ	1	有	タッチプール	
	マンリョウウミウシ	1	有	タッチプール	
	ヒカリウミウシ	1	有	奇想天貝展	
	ミヤコウミウシ	3	有	タッチプール	
	メリベウミウシ	2	有	タッチプール	
ウミフクロウ	2	有	タッチプール		
吸殻目	アラムシロ	20	有	奇想天貝展	
	ボウシュウボラ	1	有	タッチプール、奇想天貝展	
	イボニシ	4	有	タッチプール、奇想天貝展	
	キンシハイ	5	有	タッチプール	
	マガキガイ	20	有	タッチプール、奇想天貝展	
	ツメタガイ	2	有	奇想天貝展	
	レイシガイ	10	有	タッチプール	
	オオコシタカガンガラ	5	有	奇想天貝展	
	総種数	44			
総個体数	271				

・ 二枚貝綱

平成27年度 足立区生物園における二枚貝綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
マルスダレガイ目	アサリ	20	有	奇想天貝展	
	シナハマグリ	10	有	奇想天貝展	
	チョウセンハマグリ	10	有	奇想天貝展	
	ヤマトシジミ	20	有	奇想天貝展	
総種数	4				
総個体数	60				

・ 頭足綱

平成27年度 足立区生物園における頭足綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
ダンゴイカ目	ヒメイカ	30			
総種数	1				
総個体数	20				

・ 多毛綱

平成27年度 足立区生物園における多毛綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
ウミケムシ目	ハナオレウミケムシ類の一種	1	有	奇奇怪怪な蟲展	
サンバゴガイ目	サンハチウロコムシ	3	有	タッチプール	
ケヤリムシ目	ケヤリムシ	2	有	タッチプール	
スピオ目	ミズヒキゴカイ	5	有	タッチプール	
フサゴカイ目	クマノアシツキ	5	有	タッチプール	
総種数	5				
総個体数	16				

・ ホシムシ綱

平成27年度 足立区生物園におけるホシムシ綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
スジホシムシ目	スジホシムシ	1	有	タッチプール	
総種数	1				
総個体数	1				

・ カブトガニ綱

平成27年度 足立区生物園におけるカブトガニ綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
カブトガニ目	アメリカカブトガニ	4	有	常設展	
総種数	1				
総個体数	4				

・ 軟甲綱

平成27年度 足立区生物園における軟甲綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
端脚目	オオワレカラ	20			
等脚目	インヘラムシ	3	有	タッチプール	
十脚目	カワリヌマエビ属	60	有	X'mas展	品種名:レッドビーシュリンプ
	コシマガリモエビ	20			
	イソスジエビ	10			
	アメリカザリガニ	20	有	春のふれあい展、水辺のふれあい展、出張生物園、常設展	
	イソヨコバサミ	15	有	タッチプール	
	ケブカヒメヨコバサミ	3	有	タッチプール	
	ソメンヤドカリ	5	有	タッチプール	
	イシダタミヤドカリ	10	有	タッチプール	
	ホンヤドカリ	10	有	タッチプール	
	ヤマトホンヤドカリ	5	有	タッチプール	
	ベニホンヤドカリ	5	有	タッチプール	
	ケアンホンヤドカリ	3	有	タッチプール	
	ホシゾラホンヤドカリ	3	有	タッチプール	
	イボトゲガニ	5	有	タッチプール	
	イソクスガニ	5	有	タッチプール	
	ヨツハモガニ	5	有	タッチプール	
	スペースマンジュウガニ	3	有	タッチプール	
	ヘリトリマンジュウガニ	1	有	タッチプール	
	アカマンジュウガニ	2	有	タッチプール	
	オウギガニ	20	有	タッチプール	
	ヒツメガニ	1	有	タッチプール	
	ヒメアカイソガニ	2	有	タッチプール	
	ヒライソガニ	9	有	タッチプール	
	クロペンケイガニ	20	有	常設展、出張生物園	
	ペンケイガニ	10	有	常設展、水辺の生き物展、出張生物園	
	サワガニ	5	有	水辺の生き物展	
ショウジンガニ	2	有	タッチプール		
総種数	29				
総個体数	282				

・ ウミユリ綱

平成27年度 足立区生物園におけるウミユリ綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
ウミシダ目	オオウミシダ	1	有	タッチプール	
	トゲバナウミシダ	5	有	タッチプール	
	ニッポンウミシダ	3	有	タッチプール	
総種数	3				
総個体数	9				

・ ヒトデ綱

平成27年度 足立区生物園におけるヒトデ綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
モミジガイ目	トゲモミジガイ	2	有	タッチプール	
アカヒトデ目	アカヒトデ	30	有	常設展、タッチプール	
	イトマキヒトデ	100	有	常設展、春のふれあい展、タッチプール、アートな生き物展、X'mas展、奇想天貝展	
	カワテブクロ	1	有	常設展	
	チビイトマキヒトデ	3	有	タッチプール	
ヒメヒトデ目	オオシマヒメヒトデ	2	有	タッチプール	
	ヒメヒトデ	4	有	タッチプール	
マヒトデ目	ヤツデヒトデ	10	有	常設展、タッチプール	
総種数	8				
総個体数	152				

・ クモヒトデ綱

平成27年度 足立区生物園におけるクモヒトデ綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
クモヒトデ目	アカクモヒトデ	6	有	タッチプール	
	クロスジトゲクモヒトデ	1	有	タッチプール	
	ナガトゲクモヒトデ	8	有	タッチプール	
	ニシキクモヒトデ	8	有	タッチプール	
	トウメクモヒトデ	10	有	タッチプール	
	ウデナガクモヒトデ	1	有	奇奇怪怪な虫展	
	ニホンクモヒトデ	50	有	常設展、タッチプール	
総種数	7				
総個体数	84				

・ ウニ綱

平成27年度 足立区生物園におけるウニ綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
拱歯目	アカウニ	2	有	タッチプール	
	サンショウウニ	10	有	タッチプール	
	バフンウニ	10	有	タッチプール	
	ムラサキウニ	20	有	タッチプール	
総種数	4				
総個体数	42				

・ ナマコ綱

平成27年度 足立区生物園におけるナマコ属の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
マナマコ目 (櫛手目)	アカオニナマコ	1	有	タッチプール	
	イソナマコ	2	有	タッチプール	
	テツイロナマコ	5	有	タッチプール	
	トラフナマコ	10	有	常設展、タッチプール	
	フジナマコ	3	有	タッチプール	
	ニセクロナマコ	15	有	常設展・タッチプール	
	マナマコ	10	有	タッチプール	
	キンコ目(櫛手目)	イシコ	2	有	タッチプール
無足目	ムラサキクルマナマコ	5	有	タッチプール	
総種数	9				
総個体数	53				

・ ホヤ綱

平成27年度 足立区生物園におけるホヤ綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
マボヤ目	シロボヤ	3	有	タッチプール	
総種数	1				
総個体数	3				

・ 軟骨魚類綱

平成27年度 足立区生物園における軟骨魚類綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
ネコザメ目	ネコザメ	2	有	常設展	
メジロザメ目	ドチザメ	1	有	常設展	
トビエイ目	ポタモトリゴン・モトロ	1	有	常設展	
総種数	3				
総個体数	4				

・ 条鰭綱

平成27年度 足立区生物園における条鰭綱の年間飼育実績(水族)

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
ガー目	スポッテッドガー	1	有	常設展	
アロワナ目	ピラルクー	3	有	常設展	
	シルバーアロワナ	3	有	常設展	
	アジアアロワナ	1	有	常設展	
	アジアアロワナ	1	有	常設展	流通名:グリーンアロワナ
	バタフライフィッシュ	4	有	常設展	
ウナギ目	ウナギ	3	有	水辺の生き物展、正月展	
	トラウツボ	1	有	常設展	
	ハワイウツボ	1	有	常設展	
	コケウツボ	1	有	常設展	
	ニシキアナゴ	3	有	常設展	
コイ目	キンピナ	5	有	常設展、水辺の生き物展	
	キンギョ	1000	有	常設展	
	ソウギョ	1	有	常設展	
	Tor属	3	有	常設展	流通名:アロワナカーブ
	オイカフ	1	有	常設展、水辺の生き物展	板橋より受入れ
	コイ	1	有	常設展	
	ニシキゴイ	3	有	正月展	流通名:ヒレナガゴイ
	モツゴ	6	有	常設展、水辺の生き物展、出張生物園	
	タイリクバラタナゴ	15	有	常設展、水辺の生き物展	
	サイアミーズ・フライングフォックス	1	有	常設展	
	ゼブラフィッシュ	1	有	常設展	流通名:ゼブラダニオ・ロングフィン
	ラスボラ・ヘテロモルフア	5	有	常設展	
	ガラ・ルファ	53	有	春のふれあい展	
	クーリーローチ	1	有	常設展	
	クラウンローチ	3	有	常設展	
ドジョウ	4	有	常設展、水辺の生き物展		
シマドジョウ	10	有	水辺の生き物展		
ホトケドジョウ	10	有	常設展		
カラシン目	カージナルテトラ	4	有	常設展、X'mas展	
	ダイヤモンドテトラ	14	有	X'mas展	
	ネオンテトラ	6	有	アートな生き物展、X'mas展	
	ペンギンテトラ	2	有	常設展	
	マーブルハチェット	8	有	ハロウィン展	
ナマズ目	ナマズ	1	有	常設展、水辺の生き物展	
	サカサナマズ	3	有	常設展	
	コリドラス・ジュリー	1	有	常設展	
	コリドラスステルバイ	2	有	常設展	
	タイガーショベルノーズキャットフィッシュ	2	有	常設展	
	トランスルーセントグラスキャットフィッシュ	10	有	常設展	
	リネロリカリア・ランケオラータ	2	有	常設展	流通名:リネロリカリア・レッド
トゲウオ目	ヨウジウオ	14			
	オクヨウジ	5			
	サンゴタツ	20			
タウナギ目	オオウミウマ	2	有	常設展	
タウナギ目	ファイヤースパイニーイール	2	有	常設展	流通名:レッドスパイニーイール
ダツ目	メダカ属の一種	10	有	水辺の生き物展	流通名:クロメダカ
	ヒメダカ	6			宇宙メダカ
カダヤシ目	グッピー	100	有	X'mas展	
	セイルフィン・モーリー	50	有	常設展	流通名:ゴールデンモーリー
		7	有	常設展	流通名:バルーンモーリー
		30	有	常設展	流通名:ブラックモーリー
	サザンプラティフィッシュ	30	有	常設展	流通名:サンセットタキシードプラティ
		100	有	常設展	流通名:ブルータキシードプラティ
		150	有	常設展	流通名:ミッキーマウスプラティ
	コクチモーリー	20	有	常設展	流通名:シルバーライヤーモーリー
		200	有	常設展	流通名:ブラックゴールデンライヤーモーリー
カサゴ目		50	有	常設展	流通名:ブラッドオレンジライヤーモーリー
カサゴ目	ハオコゼ	3			
	マンジュウイシモチ	6			
	テッポウオ属	10	有	常設展	流通名:テッポウオ
	ハタテダイ	1	有	常設展	
	タデジマキンチャクダイ	1	有	常設展	
	クロメジナ	1	有	常設展	
	イラ	1	有	常設展	
	シュードトロフェウス・ロンパロドイ	9	有	常設展	流通名:ゴールデンゼブラシクリッド
	Pseudotropheus sp.	9	有	常設展	流通名:レッドゼブラシクリッド
	ラビドクレミス・カエルレウス	12	有	常設展	流通名:スノーホワイトシクリッド
	ネオランブローグス・プリチャージ	10	有	常設展	
	クマノミ	3	有	常設展	
	カクレクマノミ	5	有	常設展	
	ミズシリュウキュウスズメダイ	13	有	常設展	
	オヤビッチャ	7	有	常設展	
	ルリスズメダイ	100	有	常設展	
	ネットアイズズメダイ	1	有	常設展	
	シマスズメダイ	1	有	常設展	
	オヤニラミ	1			
	トサカギンボ	10	有	常設展	

	ミナミトビハゼ	20	有	常設展	
	アゴハゼ	5	有	タッチプール	
	チチブ	7	有	常設展、水辺の生き物展	
	ヨシノボリ属	4	有	常設展、水辺の生き物展	
	ヒフキアイゴ	3	有	常設展	
	キイロハギ	1	有	常設展	
	リーフフィッシュ	5	有	常設展	
	ギンユゴイ	5	有	常設展	
	インガキダイ	1	有	常設展	
	タカノハダイ	1	有	常設展	
	パールグラミー	2	有	常設展	
	ミドリフグ	1			
フグ目					
総種数		91			
総個体数		2258			

(6) 鳥類の年間飼育種数および頭数のリスト

平成27年度 足立区生物園における鳥類の年間飼育種数

分類	種名	個体数	展示歴	備考	
鳥類					
カモ目	アイガモ	1	有	里山のいきもの	家畜型
	コクチョウ	1	有	オージードーム	
	ゴシキセイガイインコ	1	有	オージードーム	
	オカメインコ	18	有	オージードーム	
	ワカナインコ	1	有	オージードーム	
	アキクサインク	2	有	オージードーム	
	セキセイインコ	7	有	オージードーム	
	フクロウ目	ホンドフクロウ	1	有	
総種数		8			
総個体数		32			

(7) 哺乳類の年間飼育種数および頭数のリスト

平成27年度 足立区生物園における哺乳類の年間飼育種数

分類	種名	個体数	展示歴	備考	
条蹄綱					
カンガルー目	オオカンガルー	1	有	オージードーム	
	パルマワラビー	4	有	オージードーム	
ウサギ目	カイウサギ	2	有	ふれあいコーナー	
	テンジクネズミ	52	有	ふれあいコーナー	
げっ歯目	ハムスター	4			
	マウス(ニホンハツカネズミ)	2			
	ハツカネズミ	2			
	カイロトゲマウス	2			
	ジャービル	4			
	ウスイロアレチネズミ	5			
	フクロモモンガ	1			
	ヒメハリデンレック	5	有	ふれあい展	
	チンチフ	29	有	観察展示室	
	シマリス	3	有	出会いの広場	
サル目	コモンリスザル	1	有	ふれあいコーナー	
食肉目	イヌ	1			イングリッシュシープドッグ
	ネコ	3	有	きつずルーム	家畜種:雑種
奇蹄目	ウマ	1	有	ふれあいコーナー	家畜種:ミゼットホース
偶蹄目	ヒツジ	3	有	ふれあいコーナー	家畜種:コリデール
総種数		19			
総個体数		125			

3. 特記事項

(1) チョウ類の月別放蝶実績

今年度は各月 10 種 500 頭以上の放蝶数を達成することができました。以下に各月の放蝶種と頭数の一覧を報告します。

平成 27 年度月別放蝶実績

分類	種名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計		
アゲハチョウ科	ナミアゲハ	67	53	55	81	67	153	116	27	55	48	20	40	782		
	クロアゲハ	165	118	60	33	22	55	52	26	15	38	58	130	772		
	シロオビアゲハ	70	7	85	17	32	46	56	85	15	61	74	86	634		
	ナガサキアゲハ	226	18	153	27	91	36	47	45	47	40	38	24	792		
	キアゲハ	2	2	3	3	28	16	12	15	4				85		
	モンキアゲハ	1	2		3	9									15	
	カラスアゲハ	1			13		4	6	2						26	
	アオスジアゲハ						1		9		1	1			12	
	ジャコウアゲハ	14	2	11	39	29	15	14	6	1		4	8	143		
	ベニモンアゲハ	1	48		2	8	1	61	1	29		47			198	
	ミカドアゲハ							3							3	
タテハチョウ科	マダラチョウ亜科	オオゴマダラ		18	37	28	65	36	16	43	71	72	38	34	458	
		リュウキュウアサギマダラ	16	30	93	18	34	13	57	62	49	92	84	87	635	
		スジクロカバマダラ	2	9	16				19	14	2	31		11	104	
		カバマダラ			2	2			4		7	8			23	
		アサギマダラ					25	64	5	12	50	5	51	35	247	
		ツمامラサキマダラ	5	18	8	9		2			5	2			49	
		タテハチョウ亜科	ミドリヒョウモン					6								6
			ウラギンヒョウモン				3	3								6
	ツマグロヒョウモン		12	8	19	5	127	120	60	81	55	66	16	22	591	
	コムシジ		1				1								2	
	リュウキュウミスジ								3						3	
	キタテハ						1		5	2			1		9	
	アカタテハ			6	9	2			2						19	
	ヒメアカタテハ					1				13					14	
	ルリタテハ						2		1						3	
	イシガケチョウ		8	20	2	20			10	3	7	31	42	26	169	
	タテハモドキ								2	8	103	12	133	9	267	
	アオタテハモドキ							8	21		1				30	
	リュウキュウムラサキ								7			1			8	
	コノハチョウ			2											2	
	ゴマダラチョウ				3										3	
	オオムラサキ					2	30		1						33	
	カバタテハ			9		9	12	38	8	13	2	13		7	111	
	コムラサキ					1	2								3	
	テングチョウ						1								1	
	ジャノメチョウ亜科	リュウキュウヒメジャノメ							3		7	3	19	4	36	
		サトキマダラヒカゲ			1	6	13								20	
ウスイロコノマチョウ								1	41	41		17	1	101		
マサキウラナミジャノメ								5						5		
ジャノメチョウ					1	3								4		
モンシロチョウ			98	25	11	13	5	25	43	57	50	12	6	345		
シロチョウ科	スジクロシロチョウ		2											2		
	ツマキチョウ		2											2		
	モンキチョウ		22	7	4	2			7					42		
	キタキチョウ	11	48	85	46	21	41	41	74	98	90	1	3	559		
	クロテンシロチョウ	16	29	52	24	8	7		20	73	31	2	12	274		
	ツマベニチョウ	57	4	19	3	2	16		8	35	29	37	20	230		
	ナミエシロチョウ							10						10		
	シジミチョウ科	ムラサキシジミ								1				1	2	
		ムラサキツバメ				1	1		40	2					44	
		ルリシジミ						1							1	
ツバメシジミ			1											1		
ベニシジミ			12	38	3			11						64		
ウラナミシジミ							1		6					7		
ヤマトシジミ			1	1	1	2	1						1	7		
ヒメシルビアシジミ								3						3		
ツシマウラボシシジミ		16	6	92	3	88							205			
セセリチョウ科	イチモンジセセリ						2	2			1		5			
合計種数		17	28	24	33	31	25	35	28	24	22	20	21	59		
合計頭数		673	598	783	526	663	770	729	669	829	725	695	567	8227		

(2) ツシマウラボシシジミの生息域外保全

昨年度に引き続き、ツシマウラボシシジミの生息域外保全の取り組みを行いました。今年度の詳細な飼育状況については、添付資料「平成 27 年度「足立区生物園におけるツシマウラボシシジミの生息域外保全への取り組みについて」をご確認ください。また、今年度は本取り組みを以下の場に発表や投稿をおこないました。全国昆虫施設連絡協議会が年 1 回発行する「昆虫園研究」へ投稿した原稿については添付資料をご参照ください。

平成 27 年度 ツシマウラボシシジミ生息域外保全についての発表および投稿

発表・投稿先	タイトル	備考
JAZA 生物多様性アクション大賞	足立区生物園におけるツシマウラボシシジミ生息域外保全への取り組みについて	入賞
JAZA 種の保存会議	足立区生物園におけるツシマウラボシシジミ生息域外保全への取り組みについて	会議での発表
全国昆虫館施設連絡協議会	足立区生物園におけるツシマウラボシシジミの繁殖作業の知見と課題について	会議での発表・会誌投稿
環境省・全昆連意見交換会	足立区生物園におけるツシマウラボシシジミ生息域外保全への取り組みについて	会議での発表

(3) ホタルの飼育展示実績

今年度、水生ホタル類 2 種（ゲンジボタル、ヘイケボタル）の観賞会において、以下の通り各種個体数を展示することができました。

平成 27 年度 ホタル見 night!の展示頭数

	6/5	6/6	6/7	6/12	6/13	1/4	6/19	6/20	6/21	計
ゲンジボタル	80	80	80	100	100	100	80	80	75	775
ヘイケボタル	0	0	0	5	5	5	10	10	10	45

※合計は延べ展示数

平成 27 年度 昼のホタル観賞会（夏季）の展示頭数

	6/27	6/28	7/4	7/5	計
ヘイケボタル	75	75	80	80	310

※合計は延べ展示数

平成 27 年度 冬のホタル観賞会（光の祭典）の展示頭数

	11/28	11/29	12/5	12/6	12/12	12/13	12/19	12/20	12/23	12/24	12/25	計
ヘイケボタル	15	15	15	15	25	25	35	35	40	40	40	300
オオシマドボタル	30	30	30	30	25	25	25	25	20	20	20	280

※合計は延べ展示数

平成 27 年度 昼間ホタル観賞会（冬季）の展示頭数

	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	計
ヘイケボタル	15	15	15	15	10	10	10	10	10	10	120
オオシマドボタル	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	200

※合計は延べ展示数

(4) 「ホタルのタベ」実現に向けたとりくみ

平成 30 年に「ホタルのタベ」を再開するため、今年度は以下の点について取り組みましたので報告します。

① ゲンジボタルの飼育個体数増加の取り組みについて

今年度のゲンジボタル幼虫の飼育については、孵化後の幼虫を室内での飼育を継続し、ある程度成長した段階で上陸水路へ放流し、その後の生存率を高める試みを行いました。3 月中旬以降から上陸が確認できましたので、水路内で順調に成長しているものと考えられます。

水路周辺の上陸地について、昨年度は乾燥している状況が確認されました。そのため水路周辺に散水機を設置し、土壌の状態を確認しながら乾燥しないように散水を行いました。今後は上陸地の散水だけでなく、土壌の水分保持を目的とした植栽を検討します。

② ハイケボタルの飼育個体数増加の取り組みについて

ハイケボタルの飼育については、昨年度の孵化幼虫の飼育状況の改善ができました。今年度においては、終齢幼虫から蛹化時および羽化時の生存率向上のための取り組みを行いました。

上陸と蛹化については、従来の上陸水槽での自然上陸を取りやめ、飼育ケースから這い出た幼虫を上陸地のみ作成したケース内に入れる半強制上陸の方式に切り替えました。この方式により、小型のケースに上陸した幼虫を小分けすることで、個別に湿度を保てるようになり、全体の管理の手間の軽減や個体数の把握がしやすくなりました。また、ケース内の土壌については、上陸地を作成するごとに新しいものを使用することで、カビの発生を抑えることができました。

③ 水生巻貝類の飼育環境改善に向けた取り組みについて

昨年に引き続き水路の環境維持を行い、餌用カワニナの管理を行いました。特に夏季は昨年と同様に熱交換器を利用したことで、水路の水温を 27℃以下に押さえることができ、高水温によるカワニナの大量死を避けることができました。また、年に 2 回（9 月、1 月）水路内の清掃を行い、カワニナを捕食するヒルやプラナリアの除去を行いました。これらの取り組みにより水路内のカワニナの量を常に保つことができました。

④ 今後の取り組みについて

今年度は、昨年度に引き続きゲンジボタルとハイケボタルの両種において飼育個体を増加させることと、新たに羽化率を向上させることに重点を置いて飼育管理を行いました。今後はホタルのタベに向けて具体的な展示方法について検討を行います。

「ホタルのタベ」開催に向けた年度ごとの重点取り組み

年度	ホタルの飼育			展示方法の検討
	ゲンジボタル	ハイケボタル	エサ用水生巻貝類	
平成26年度	飼育環境(上陸水路)の改善	飼育個体数の増加 飼育方法の簡略化	飼育環境(水路)の改善	昆虫ドームへの放虫試験
平成27年度	飼育個体数の増加 羽化率向上への取り組み	羽化率向上への取り組み	飼育環境(水路)の改善	遮光材の検討と試行 ドーム内放虫方法の検討
平成28年度	飼育個体数の増加 羽化率向上への取り組み	飼育の安定化 新規餌の検討	個体数増加への取り組み	遮光材の検討と試行 試験的放虫の実施
平成29年度	飼育の安定化 新規餌の検討	飼育の安定化 個体数増加への取り組み	個体数増加への取り組み	小規模でのホタル観賞の試行
平成30年度	『ホタルのタベ』開催		個体数増加への取り組み	『ホタルのタベ』開催

(5) 捜査押収品の引き取り個体「テナガコガネ類」の飼育について

捜査で押収されたテナガコガネ類の幼虫について、警視庁からの要請を受け 5 月 18 日および 6 月 11 日に証拠品の保管という形で受け入れました。テナガコガネの仲間は国産のヤンバルテナガコガネを除き、すべて特定外来生物に指定されています。そのため、9 月 28 日に保管解除通知書を受け取った後、環境省に飼育許可を申請して飼育を継続しました。

本来飼育そのものが禁止されている種類のため、飼育に関する最近の知見は乏しい種であると言えます。このような種の飼育を行い、その知見を蓄えることで生物園の昆虫飼育の技術の向上を図ることができます。また、今後、国内希少種の域外保全に携わる機会があった場合、この知見を応用して、希少種の保全を行うことができる施設として貢献できます。

(6) 観察展示室「水族展示エリア」の水槽改修について

昨年度に引き続き、観察展示室にある水槽のうち経年劣化により破損の危険性が高い水槽群（円柱水槽。アーチャーフィッシュ水槽、カブトガニ水槽、サカサナマズ水槽、擬態水槽）を撤去し、魅力ある展示に改修するため、以下の取り組みを行いました。

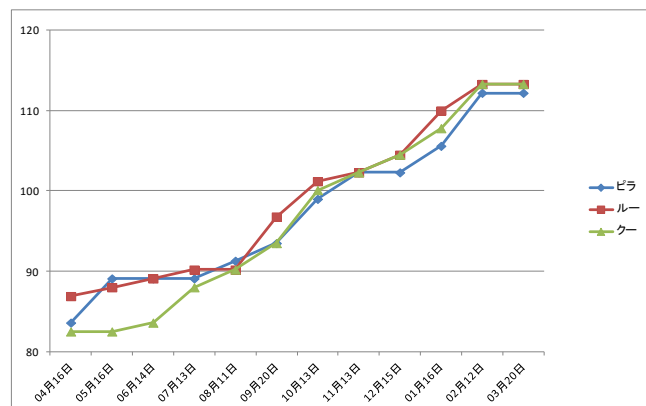
- ・観察展示室 水族エリアの展示ストーリーの検討
- ・展示ストーリーに沿った水槽テーマの検討
- ・水槽テーマを表現するレイアウトおよび生体の検討
- ・水槽の設営計画・準備

3月には水槽を設置し、展示再開に向けて飼育設備の準備を進めました。来年度は水槽展示を開始し、生体の健康維持はもちろんのこと、来園者により面白く効果的に見せるために行動を促すレイアウトや観察を促す解説板の開発を進めます。

(7) ピラルクーの成長実績

昨年度、新たに飼育を開始した3尾のピラルクー（個体名：ピラ、ルー、クー）について、成長記録を行いましたので以下に報告します。

昨年度から比べて約30cm成長し、見ごたえあるサイズになりました。それに伴い、ピラルクーの迫力ある捕食シーンを観察してもらうことを目的に4月よりピラルクーの餌やりプログラムを開始しました。



(8) 他館からの譲渡個体の飼育状況

4月13日（月）に、わんぱくこうちアニマルランドより、パンケーキリクガメ幼体2匹、アカアシガメ成体4匹を譲り受けました。パンケーキリクガメは7月より園内にて展示、アカアシガメは5月より企画展や出張生物園などのふれあいプログラムで使用しており、共に来園者より人気です。とくにパンケーキリクガメの幼体に関して、導入時に甲長約5cm、体重30gだったが、3月の時点で甲長約10cm、体重120gに成長しました。今後も計測を行い、順調に成長するように飼育管理を行います。

(9) コモンリスザルの新規導入

ふれあいコーナー（オーストラリアドーム）の新規導入種として、コモンリスザルを購入しました。平成28年の干支が申年ということもあり導入しましたので、年末年始に干支の引継ぎ式等のプログラムで活躍し、来園者の方にも大変好評をいただきました。

第三章 施設維持管理業務

I 元渚江公園の維持管理業務

1. 公園管理上の留意事項

本共同体は、元渚江公園の維持管理業務を遂行するにあたり、「元渚江公園・生物園管理運営業務仕様書」に基づき、以下の点に留意し、適正かつ、適切な公園の維持管理に努めました。

- 日常及び定期的な施設の点検と修繕、清掃などの保守管理を適切に行うとともに、遊具や工作物の故障、台風や降雪等、休園日・夜間においても緊急時に迅速に対応できる体制を確保すること。
- 公園内の見回りを行い、他の公園利用者や近隣住民等の迷惑や危険となる行為については、適正かつ安全な利用を行うよう指導すること。（特に喫煙や犬のリードなど）
- 不審者・不審物の発見に努め、不法占拠等、不適切な利用が確認された場合は、公園管理者として撤去、退去を指導すると共に、必要に応じて区と協議し、必要な措置をとること。

2. 公園維持管理業務の主な内容

① 公園内清掃作業

園内は毎日、拾い清掃や掃き清掃を適宜組み合わせて行いました。園路・広場、園地の清掃を行い、常に園内をきれいな状態に保つことに努めました。公園外周道路の落葉やゴミについても清掃範囲にふくむものとし、定期的に外周清掃を行いました。またトイレは毎日水洗いを行い、衛生面に配慮した清掃を行いました。ゴミは分別を行ったうえで所定箇所に集積し、適切に処理をしました。その他公園入口の噴水モニュメントや排水口など、適宜高圧洗浄等を行い、美観の保持に努めました。

② 樹木管理

来園者の安全を最優先事項とし、枯枝の有無を日常的に点検し、発見次第速やかに撤去を行いました。樹木の剪定や刈り込み時は、樹木特性に応じて最も適切な時期と方法で行いました。高木に関しては定期的に高所作業車を使用し作業を行いました。発生した剪定枝等は定期的にチップ化して遊具広場を中心に園内に敷き均すなどリサイクルに努めました。

③ 病虫害防除及びカラスの巣撤去

病虫害防除にあたっては早期発見に努め、剪定防除、補殺等により行いました。定期的に点検を行ったので、緊急時に薬剤を使用する必要はありませんでした。

カラスの巣を撤去する場合は、なるべく産卵前に行いました。産卵後は注意看板を設置して被害防止措置を講じ、早期に対応しました。卵、ヒナの撤去は必要最小限に留め、止むを得ず撤去した時は鳥獣保護法を遵守して対応しました。

④ 植込み地及び草地管理

公園利用者の憩いと安全に配慮し、定期的に除草、草刈りを行いました。草地広場のうち、草地Aについては年5回程度均一に機械刈りを行い、草地Bについては、半面ずつ交互に刈込み、「いきもの原っぱ」として昆虫などが生息出来る環境づくりに努めました。半面を交互に年5回機械刈りを行いました。また草地A、B以外の草地については、年5回程度均一に機械刈りまたは除草を行いました。(図1参照)。刈草は基本的には刈放しとしましたが、状況に応じ場外処分としました。



(図1)

⑤ 花壇管理

公園正面の花壇及びに庭園内プランターは、季節に応じて年間3回、草花の植付けを行いました。定期的に花柄摘みや灌水を行い、景観の維持に努めました。また公園正面入口の春花壇はチューリップを植えこみました。

⑥ 遊具点検

月1回、定期的に目視、触診等による遊具及び工作物の点検を行い、ボルトナットの増し締め、グリスアップ、消耗部品の交換を行いました。また毎日の遊具広場の清掃作業時も目視による点検を行い、安全管理を心掛けました。その他年1回、区が委託する専門業者による点検を行い、点検結果に従い速やかに修繕、取替えを行いました。

⑦ つり池清掃・釣り池噴水装置点検

水面のゴミや落葉等を網等で随時除去しました。鯉、鮒の死亡数、水温を毎日記録し、月報に添付し報告しました。また釣り池内に設置してある循環ポンプも適宜清掃点検を行いました。

※元湊江公園の維持管理作業の詳細については、月報をご参照ください。ここでは、実施した作業を一覧表「平成27年度施設維持管理業務年間報告(元湊江公園)」でご報告させていただきます。また、共同体直営作業のうち主なものを写真でご報告することとします。

3. 平成27年度 施設管理業務実施報告（公園維持管理）

作業内容	実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公園維持管理													
公園内清掃	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
噴水モニュメント高圧洗浄	適宜					適宜 29日	適宜 11日	適宜 7日					適宜 31日
樹木剪定	適宜					適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
枯枝撤去	適宜					適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
落葉清掃	適宜					毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
剪定枝・枯れ枝・チップ化	適宜					適宜			適宜	適宜		適宜	
病害虫駆除	適宜					適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜		
カラスの巣 撤去	適宜					適宜	適宜	適宜				適宜	適宜
除草	適宜					適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
花壇植栽・管理	適宜					除草 18日	除草 15日	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
遊具日常点検	12回					15日	22日	25日	28日	28日	28日	28日	30日
釣り池 清掃	適宜					適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
釣り池 噴水装置清掃	適宜					適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
公園内 補修	適宜					適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
スミラブ発砲銃投与	7回					1日	1日	15日	18日	20日			29日
公園機械設備 （中庭ピカピカサービス）	1回												3月に変更 9日
公園照明巡回点検	2回												
		計画	計画	適宜	除草	実行	灌水	休養の予定					

4. 公園維持管理作業の様子

■公園内清掃作業

落葉、ゴミ、トイレなどの清掃作業 公園外周の清掃 排水口の清掃など



■噴水モニュメント高圧洗浄

高圧洗浄機を使用しての洗浄作業 噴水雨水ピットの清掃



■ 樹木剪定

樹木の特徴に合わせて適期に剪定作業を行う。樹木の大きさによっては高所作業車を使用した。



■ 枯枝撤去

日常の巡回作業を行い、発見次第随時対応した。



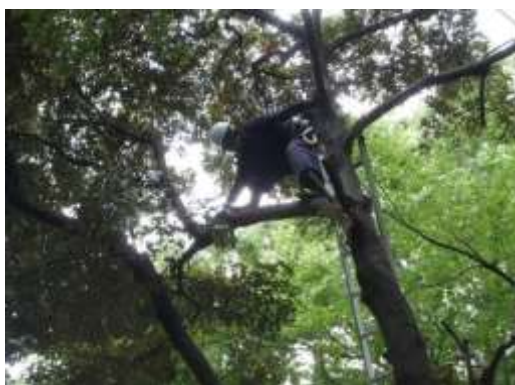
■剪定枝・枯枝・チップ化

公園内で発生した剪定枝や枯枝をチップ化して公園内に敷きならす。緑のリサイクルを実行した。



■カラスの巣撤去

枯枝の点検と同じく日常点検を行い、発見次第対処した。



■ 除草

刈払機や手作業での除草作業



■ 花壇植栽・管理

年間3回の植え替え作業を実地した。日常管理として花柄摘みや灌水作業などを行い維持管理に努めた。



■遊具日常点検

毎月 1 回定期遊具点検の対応



■釣り池 噴水装置清掃

釣り池内の噴水の洗浄を行った。状態を確認しながら水中ポンプを解体し清掃を行った。



■公園内 補修

日常点検を行い修繕の対応を行った。



■スミラブ発砲錠投与

4月から10月まで毎月1回投与を行った。(2錠/箇所)



Ⅱ 生物園の維持管理業務

1. 生物園維持管理業務の内容

① 館内清掃

利用者が、施設を気持ちよく利用できるよう、定期清掃、日常清掃、メンテナンスを計画的に実施し、常に館内の美化及び衛生管理に努めた。

② 植物管理

各種熱帯植物や雑木、野草、水生植物等についてその特性や生態的役割について十分理解し、剪定、除草、間引き、補植等必要な作業を適宜行った。また来園者が生物を観察しやすいように管理を行った。

③ 機械設備

日常及び定期的な施設点検を行い、施設及び工作物の適正な維持管理に努めた。毎日温度や機械数値のデータを観測し、異常の有無を早期発見出来るようにして施設の異常が発見された場合は、速やかに修繕し対応した。

維持管理の仕様は、特記仕様書のほか東京都建設局「設備保守標準仕様書」及び「足立区維持保全業務標準仕様書」に基づき実施した。

※生物園の維持管理作業の詳細については、月報をご参照ください。ここでは、実施した作業を一覧表「平成 27 年度施設維持管理業務年間報告（生物園）」でご報告させていただきます。また、共同体直営作業のうち主なものを写真でご報告することとします。

2. 平成27年度 施設管理業務実施報告（館内清掃・植物管理・機械設備）

作業内容		実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
館内清掃														
定期清掃	6回													
丸三薬業		13日		2日			31日		13日	9日	14日			22日
大温室ガラス清掃	1回													
ワタシナミール		17日												
除塵	毎日													
各所水拭き・洗剤拭き	毎日													
ゴミ収取	毎日													
消耗品補充	適宜													
植物管理		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
散水	毎日													
剪定	適宜													
除草	適宜													
間引き	適宜													
補種・植替等	適宜													
機械設備		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
エレベーター	毎日【遠隔監視】													
	毎月【遠隔診断】	20日	21日	30日	31日	31日	31日	31日	18日	25日	18日	22日	28日	
日立ビルシステム	4回【有人点検】	20日			13日				26日			15日		
自動ドア	2回													
子システム									28日					
消防用設備	2回													
上野消防									24日					
機械整備	毎日													
セコム														
自家用電気工作物	毎月													
丸山電業		9日	14日	17日	10日	9日	11日	15日	15日	12日	12日	12日	9日	
吸収式冷温水機(ガス焚)	2回													
東前ビルサービス				8日						27日	11月に変更			
温水ボイラー	3回													
東前ビルサービス									10日			29日	9日	
湯水・排水槽	1回													
東前ビルサービス				4日										
電話	2回													
東前ビルサービス					8日							30日		
自動制御設備総合点検	1回												12日	
東前ビルサービス														
環境測定	6回													
東前ビルサービス			3日		8日			11日		28日		29日	9日	
グリストラップ	3回													
丸三薬業				4日					9日				29日	
第二種 ヘッター	1回													
第二種 密閉式膨張タンク	1回													
ポンプ類	1回													
									21日					
空気調和機 AHU	2回													
ファンコンベクター 19基	2回													
エアコン 空調機 24基	2回													
排気ファン	1回													
加熱冷却ユニット	2回													
ポンプ類(雑)	1回													
天窓・自動	1回													
フィルター洗浄	6回													
		28日		26日		20日		30日			20日		28日	
クーリングタワー	4回													
		14日			18日		28日		30日					
定期巡回点検	毎月													
		30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	26日	30日	29日	31日	
塩素除去装置	4回													
				21日				26日			17日			

3. 生物園維持管理作業の様子

■各所水拭き、洗剤拭き

モップによる水拭き、洗剤を用いてのポリッシャー掛け、高圧洗浄など



■ゴミ収取、消耗品補充

毎日の基本作業



■除塵、清掃作業

館内、庭園内、大温室のゴミの清掃



■除草

庭園や食草温室周りの除草作業



■ 灌水

大温室、庭園、食草温室の灌水作業 スプリンクラーが届かない部分の手灌水。



■ 剪定作業

大温室や庭園の剪定作業 閉園後や休園日に作業を行いチョウなどの昆虫に適した環境を創り出す。



■間引き、植え替え

食草温室や大温室での間引き作業や植え替え作業

